



次々と襲い掛かる
淫らな男…!

初めての衝撃に翻弄される
天才退魔士少女…!

退魔士 カグヤ

DEV ID: EXECUTIONER KAGUYA

退魔士
カグuya

DEVIL EXECUTIONER KAGUYA



キャラクター紹介

川澄カグヤ

妖魔討伐を専門とする
フリーの退魔士。

高い霊力—

優れた身体能力—

数多くの実戦経験—

「退魔士」としての

すべてを兼ね備えていた天才少女

退魔士として 戦闘の経験は豊富だが
男性関係の経験のほうはほとんど無い。





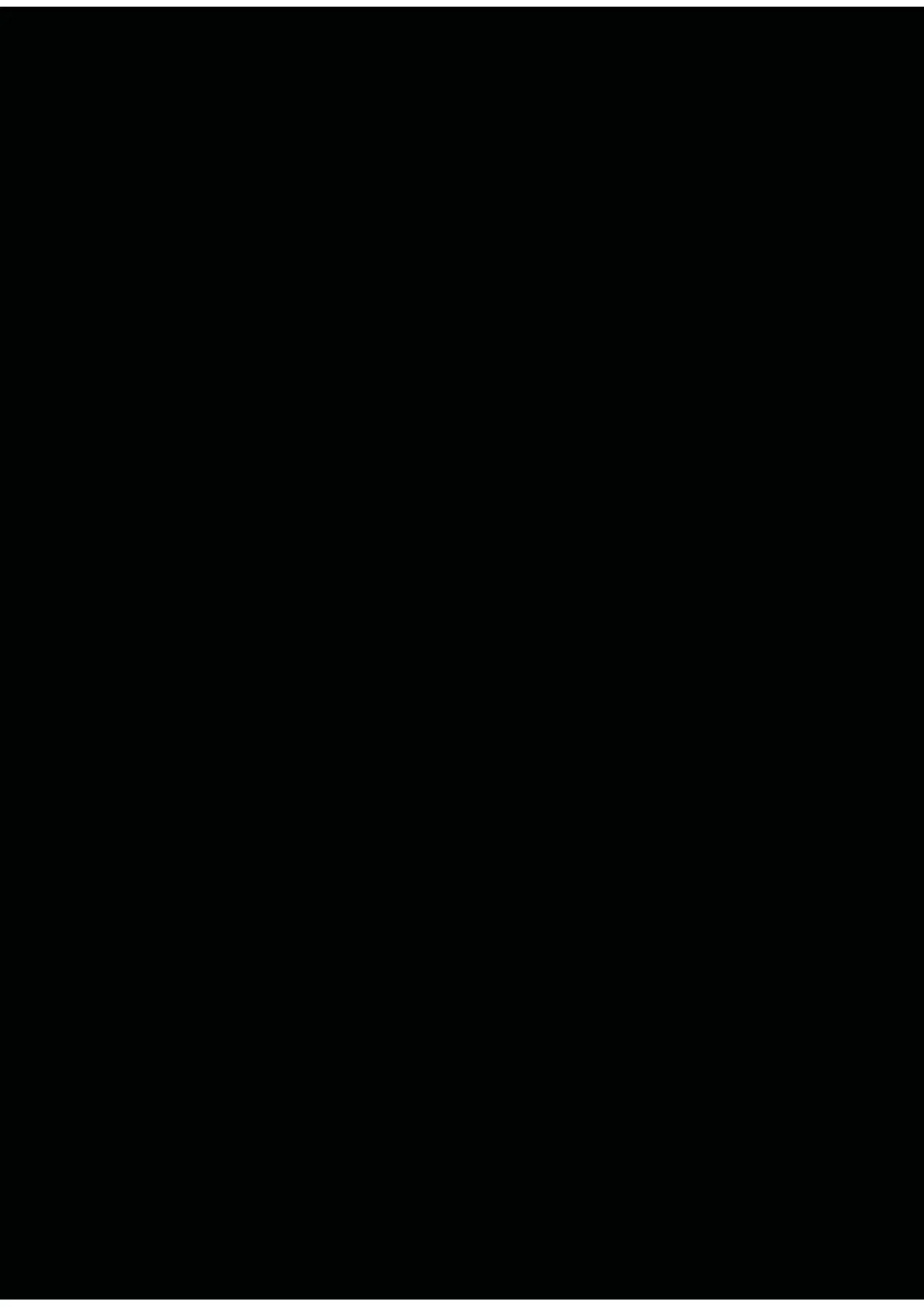
仁科メル

退魔士協会所属の退魔士。
カグヤのサポート役として派遣された。
川澄カグヤの後輩でかつてはカグヤと
一緒に修行したこともある。
明るい性格の持ち主だが
すこしレズっ気もあり
意地悪な側面も。



ケーシャ


軍の特殊部隊出身の退魔士。
冷静沈着かつ真面目な性格で
いつも淡々と任務をこなす。
霊力は退魔士としては並だが
身体能力だけならカグヤよりも高い。





「妖魔」――

人間の理解を超える
異常な力をもつ存在



それは
この現代社会にも
潜んでいる…



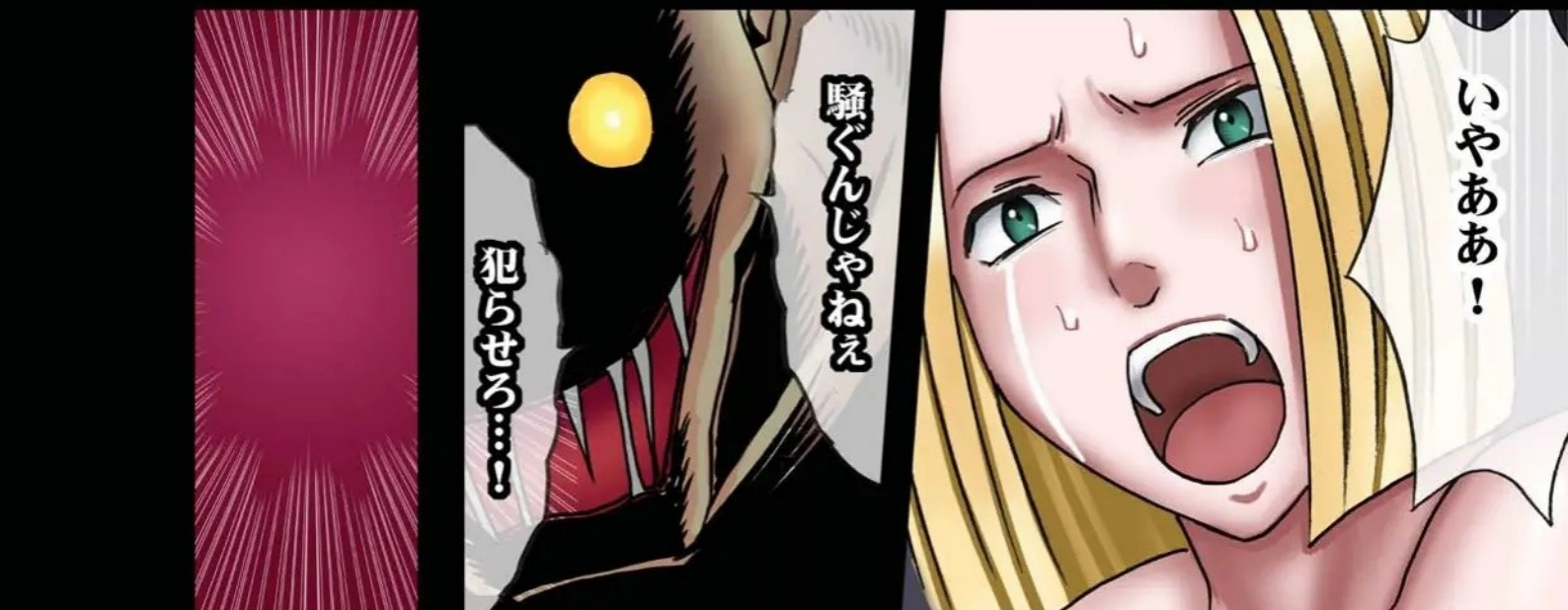
やつ！

いやつ…!!
何なの…!!



ククク...

もう観念しろよ

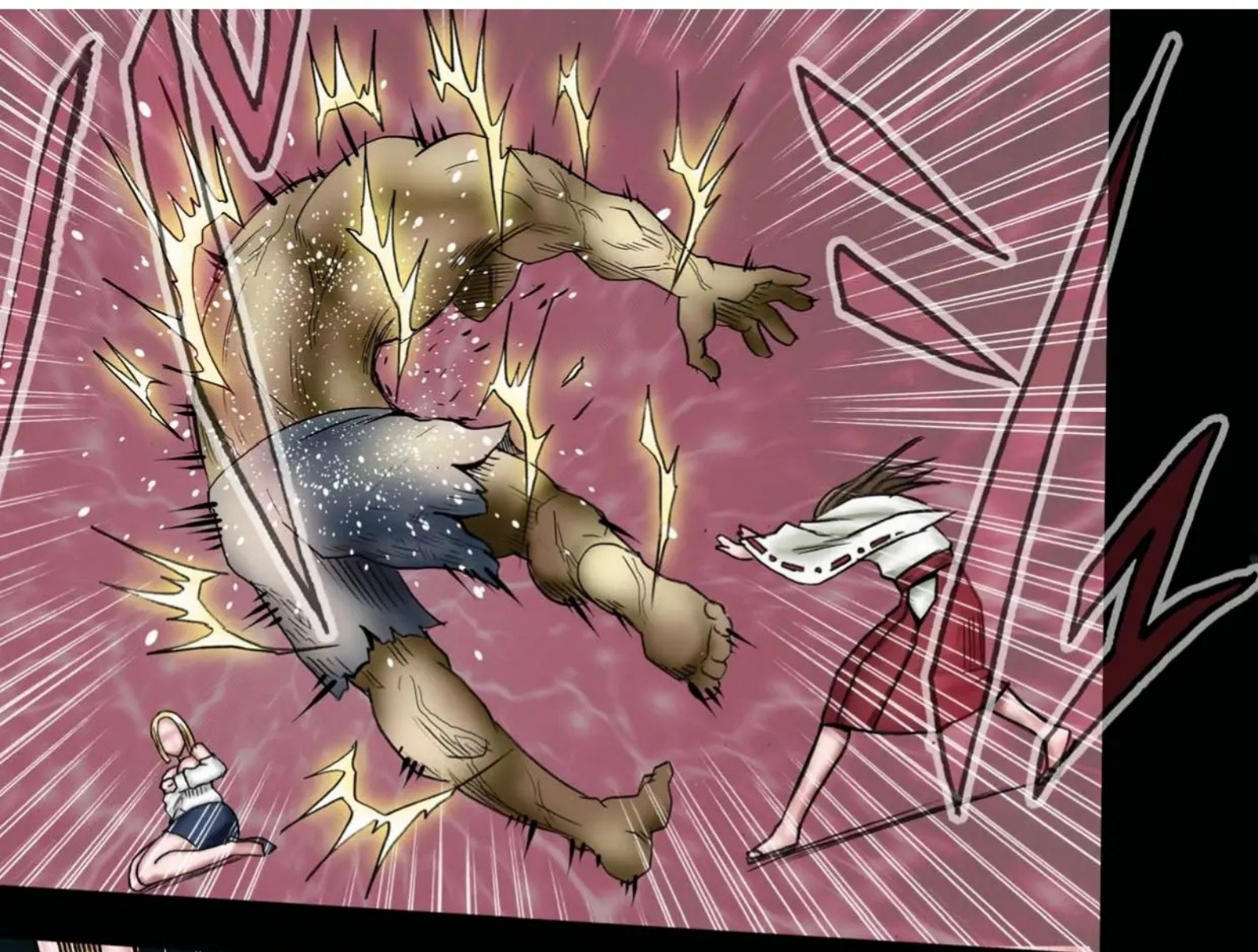


いやああ!

騒ぐんじゃねえ

犯らせる...





やつちやつて
くださーい
カグヤ先輩!



グハッ...

ナ...ナンド...?

ゴウゴウ

陽魂衝

!

はぁあぁッ!!

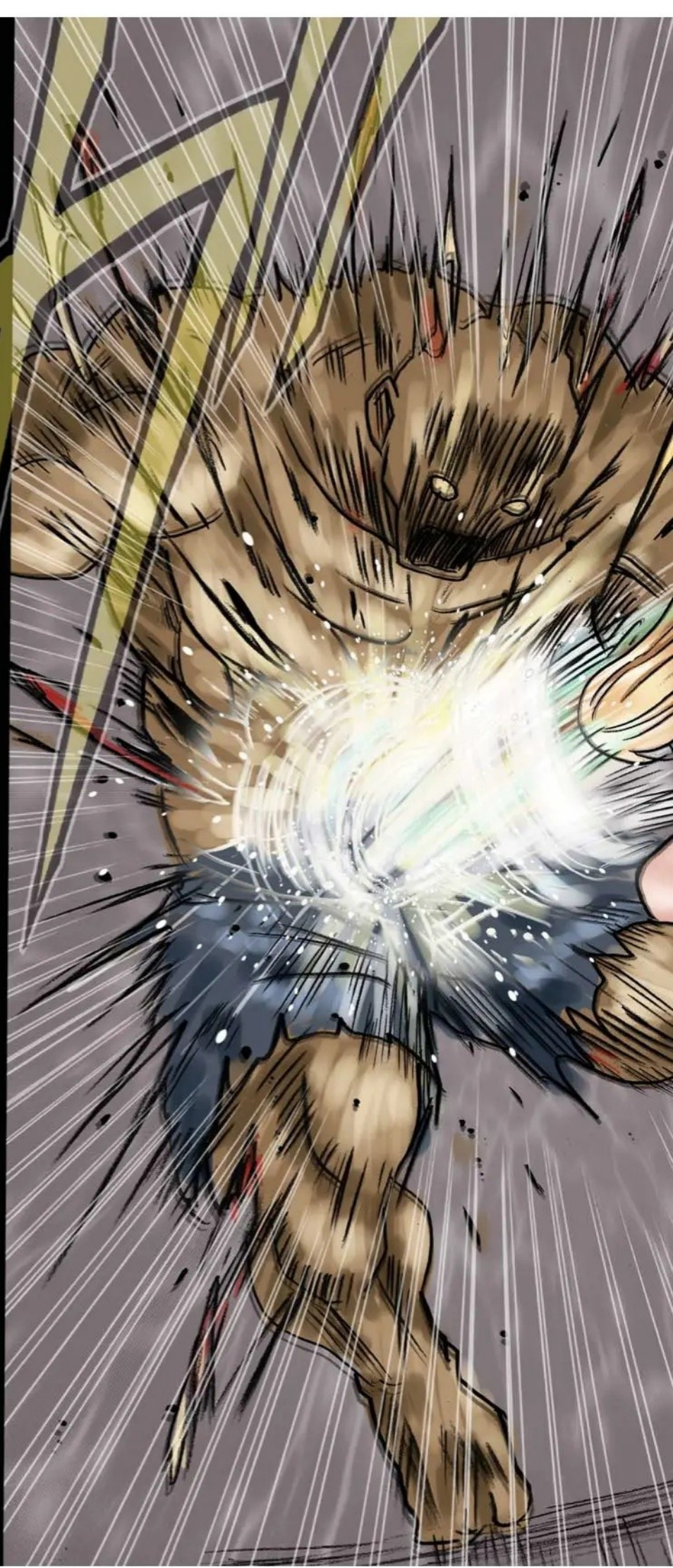




グ
ア
ア
...



ク
ク
ク



とりあえず
1匹目
討伐完了ね

報告しとか
なきやね

余裕
でしたよね♪

川澄カグヤ

妖魔討伐を専門とする
フリーの退魔士

ここ加羅石町で
多くの妖魔が
目撃されているとの
情報を受けて

いや〜さすが
カグヤ先輩

久しぶりに
見ましたけど
相変わらず
すごい霊力ですね〜

やっば
先輩が一緒だと
心強いですね〜

後輩の仁科メルと共に
その駆除にやってきた

高い霊力―
優れた身体能力―
数多くの実戦経験―

今回の依頼は
アツサリ終わり
そうですね〜♪

そうですね

さっさと
終わらせましょ

「退魔士」としての
すべてを兼ね備えていた
天才少女 川澄カグヤは

今回の依頼も
いつものように簡単に
終わらせる
つもりだった

しかし
この加羅石町での
戦いで

彼女は
思い知らされる
ことになる

三十

「退魔士」として
ではなく

久しぶりに会えたよ
やっほ
カラダのぼんぼんはさあ

ちゅっ…ちゅっっ
そんなに寄らないでよ…

「女」としての弱さを

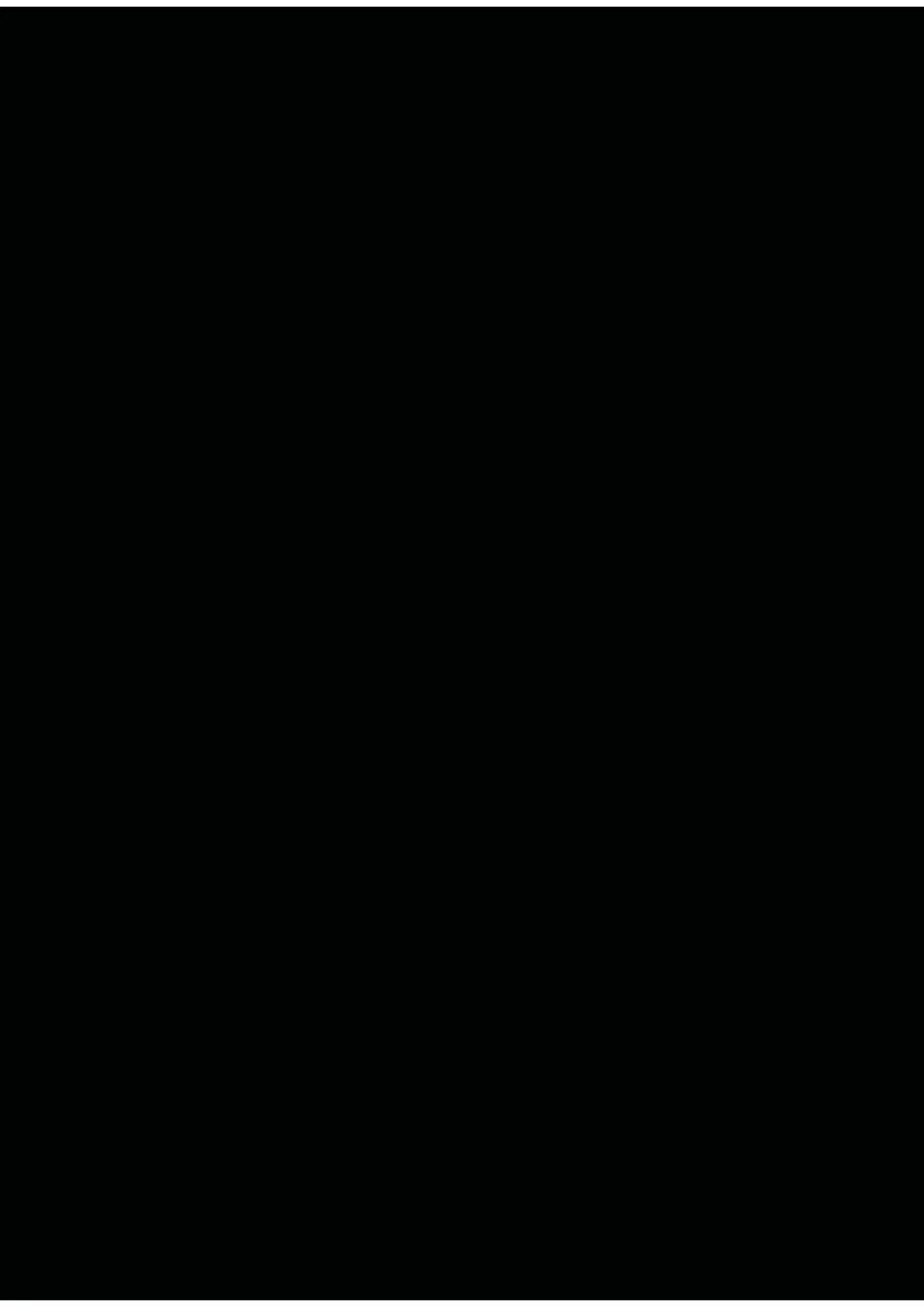


退魔士カグヤ

第1話

「戸惑う

処女退魔士」



加羅石公園

うん
妖魔見つか
り
ませんね

私のレーダーの感じだと
このヘンにいます
思うんですけどね

そうね…
大きな公園って
妖魔が棲みつき
やすいしね

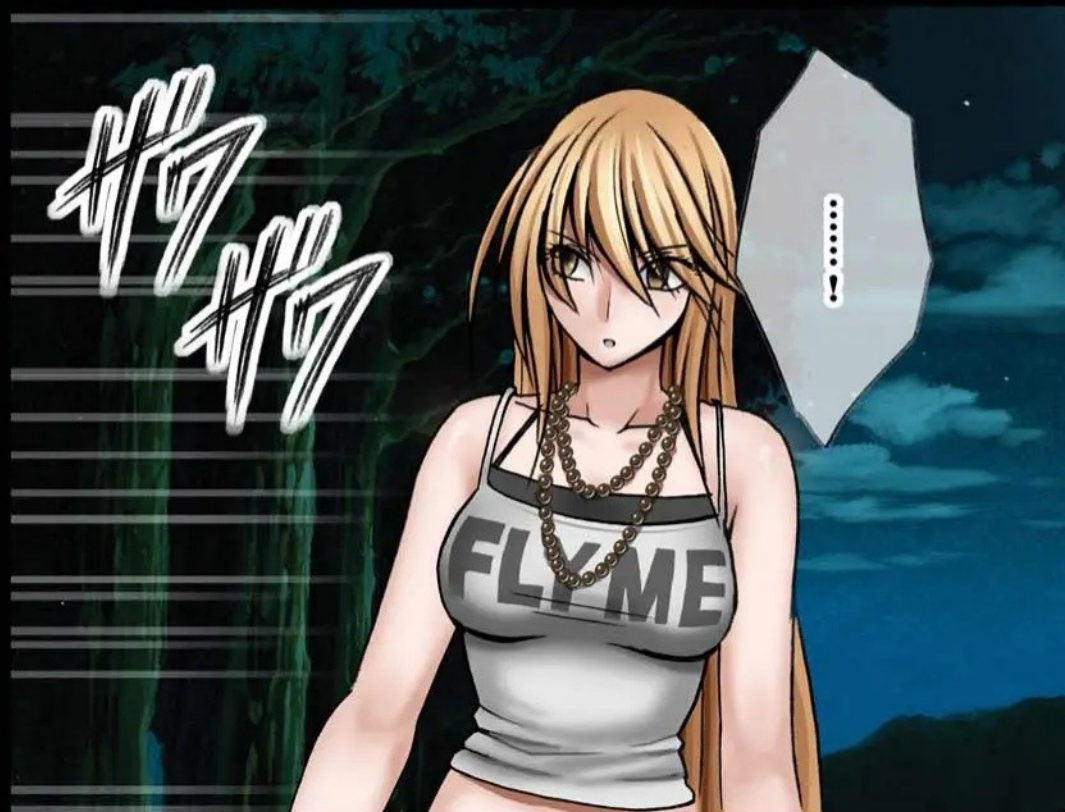
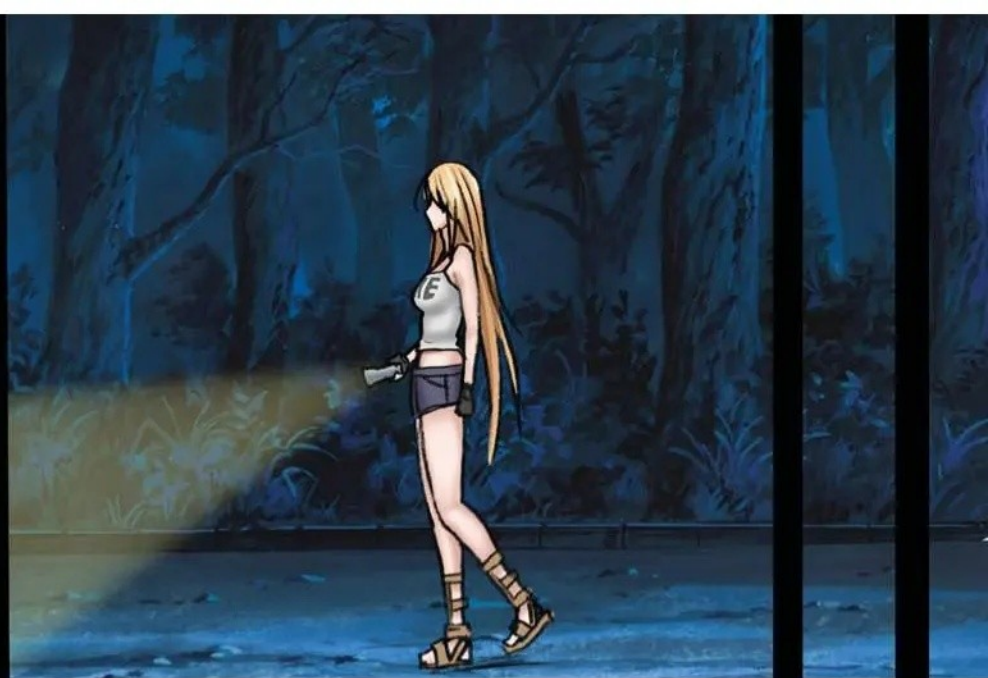
私もさつきから
何か妖気は
感じてるわ

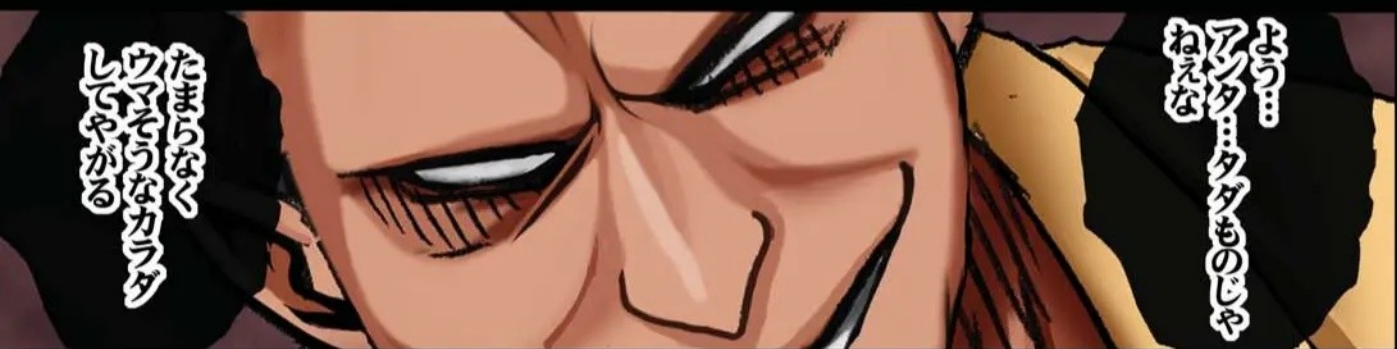
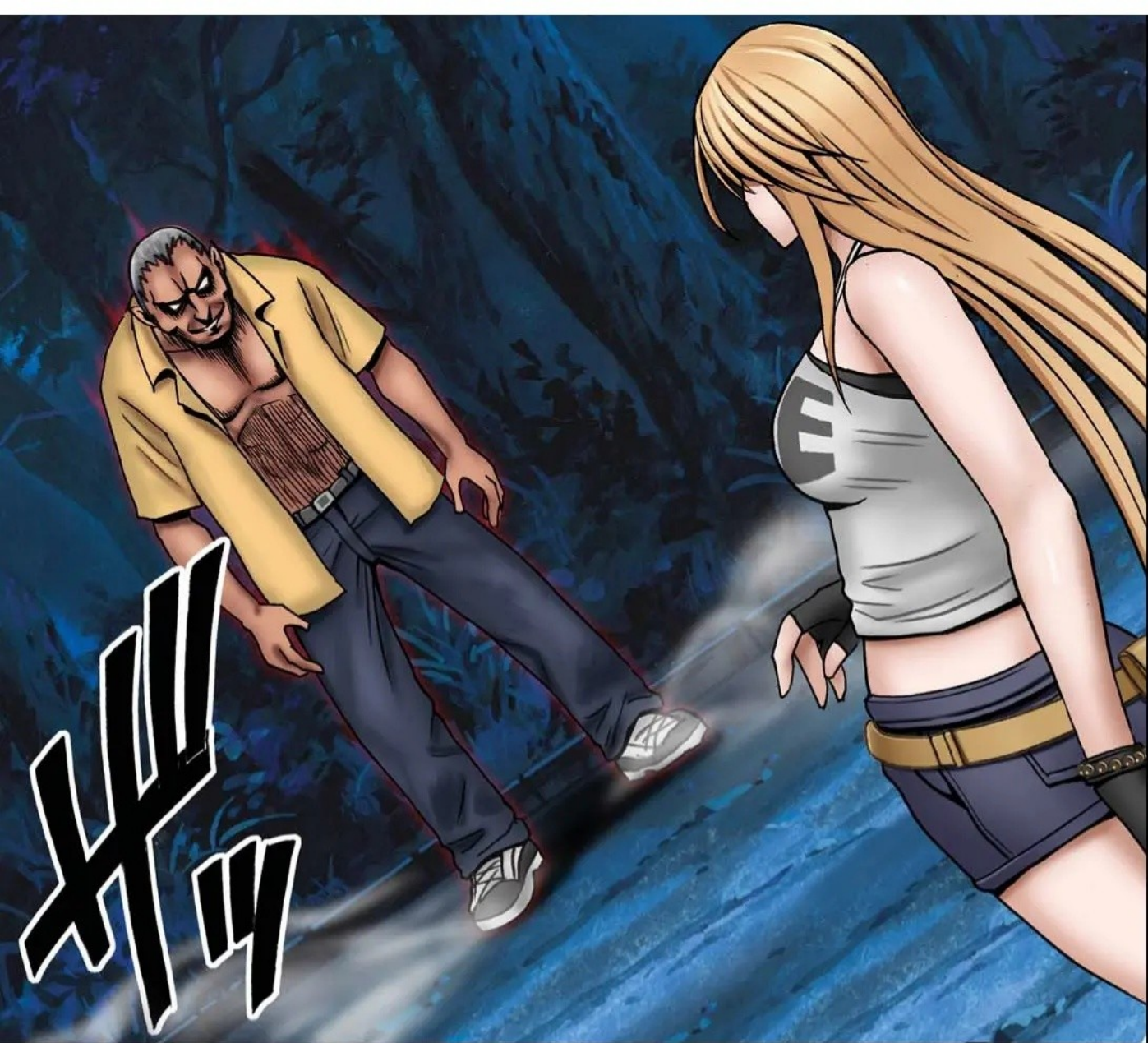
確かにこのあたりは
何かいそうね

じゃあ
ちよつと先輩は
あつちのほうを
探索してみてください

私はこっちを
見てきますんで

分かったわ





よう！
アツク…タタものじゃ
ねえな

たまらなく
ウマそうなかラダ
してやがる



ゴゴゴ…

それほどの
強さを感じないし



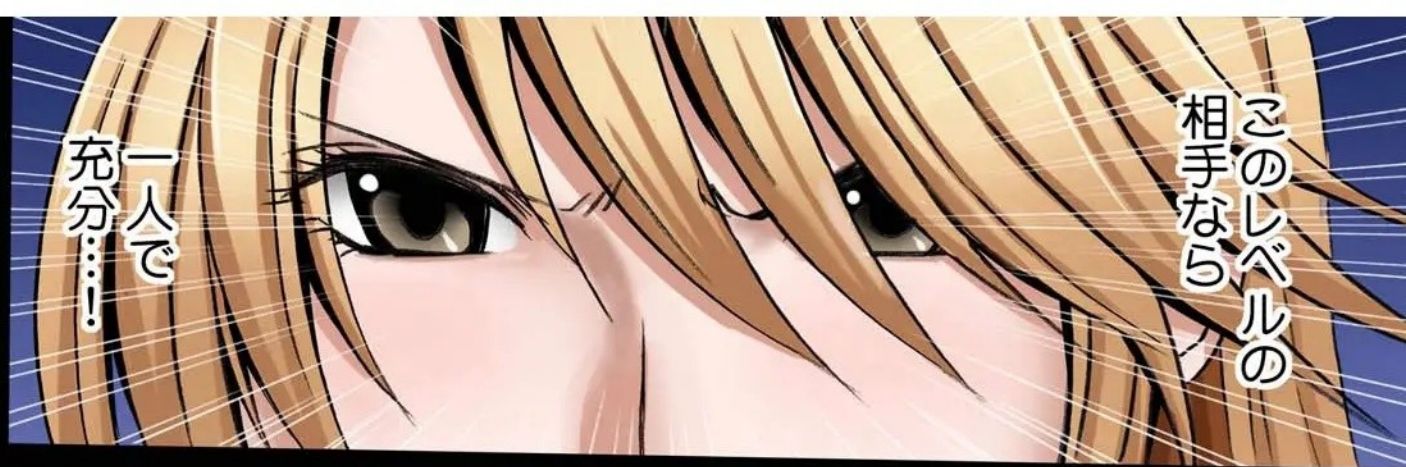
ゴゴゴ…？

メルと合流して
確実に対処するか…



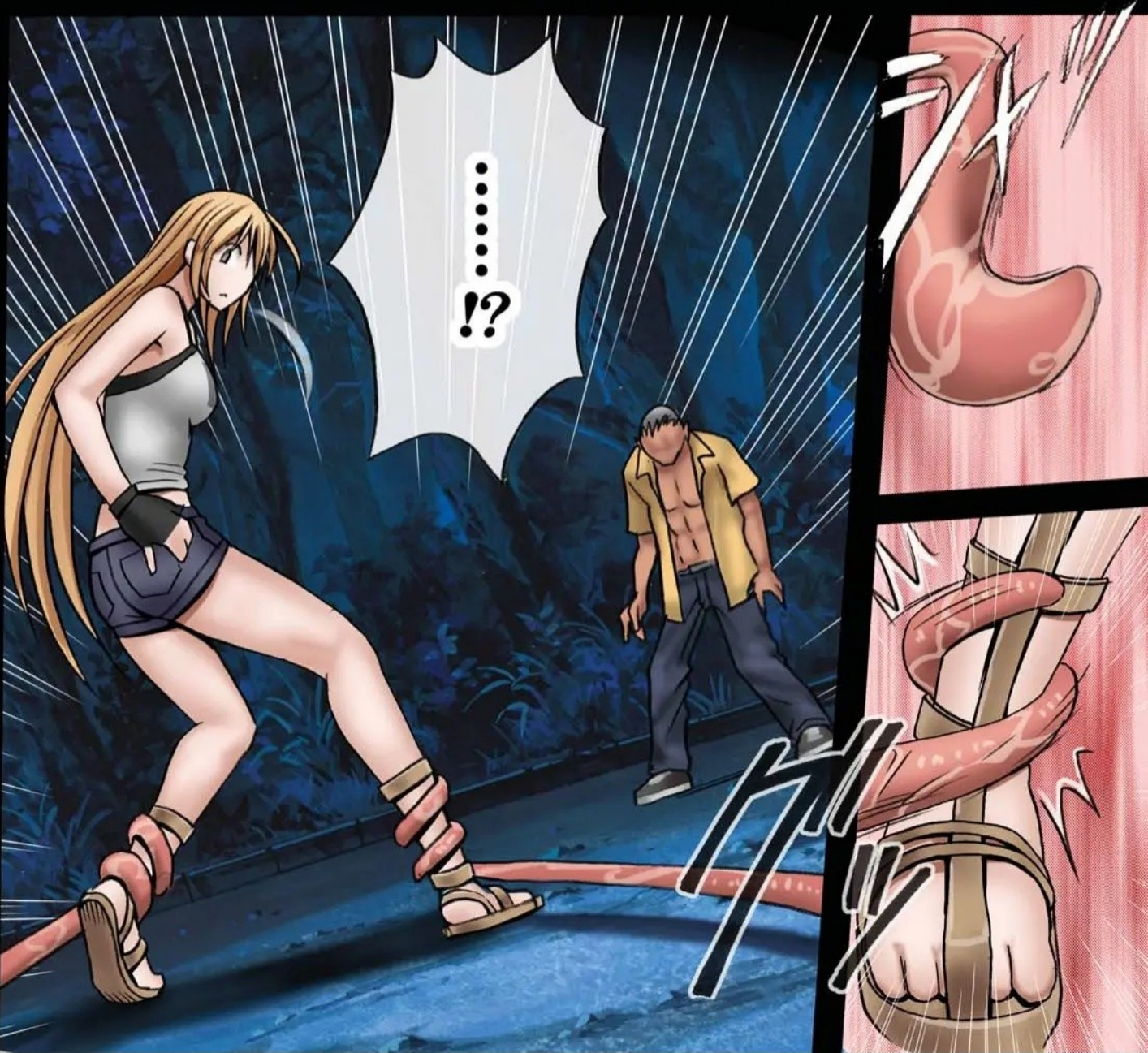
これは間違いない…！！

妖魔…！！



このレベルの
相手なら

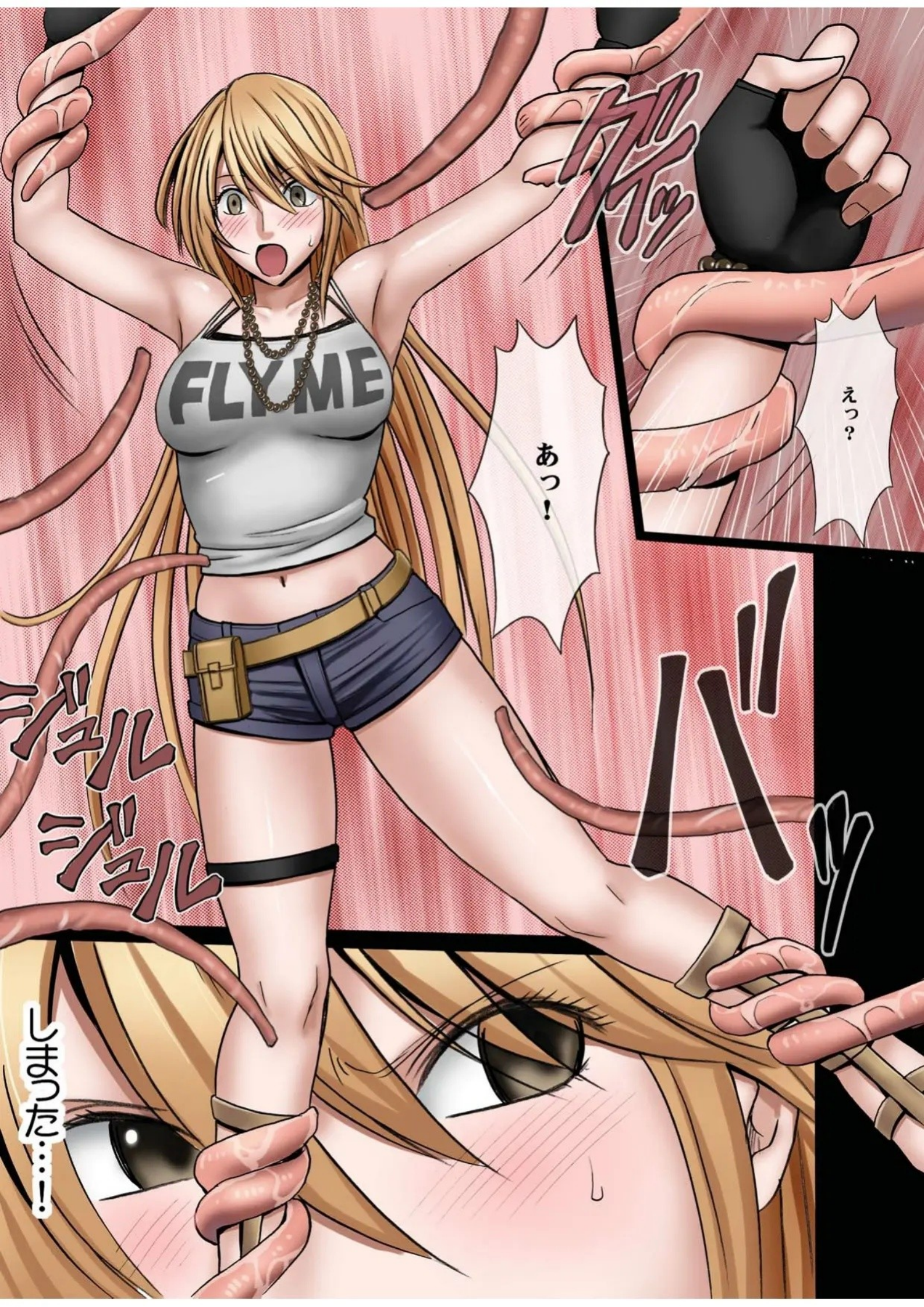
一人で
充分……!



……
!?

クッ
クッ

クッ
クッ



FLYME

ガッ

えっ?

あっ!

ニギル
ニギル

ハッ

しまった...!



ゴムル
ゴムル

アツク
退魔士たる

昨日
仲間の二人が
やられたらで聞いた

アツク
油断したな



強いつてことは
分かてる

だから畏を
しかけさせて
もらった

オレは
アイツのようには
いかないぜ？

ニヤリ



アツク
アツク

やられる...

スツ



畏...?

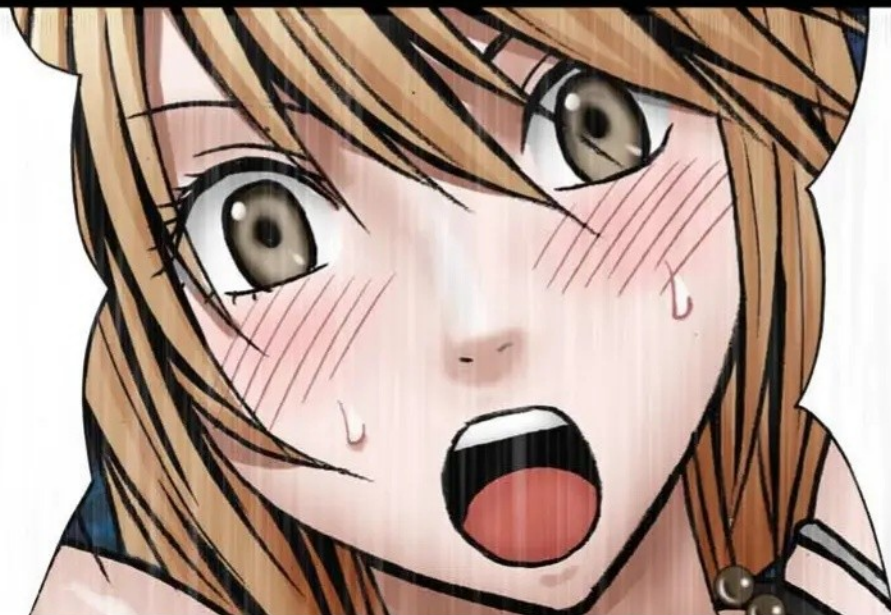
本能のみで動く
妖魔にそんな
知性が...?



霊力を高めて
防御を...!



な…何を…?



…
!?

フワッ！

何を
やってるか！
だつて？

揉んでるんだよ

お前のこの豊満な
オツパイを

モシ
モシ

モシ
モシ

見て
分からないのか？

喰われることも
思ったか？

そんな野蛮なことを
するつもりはねえよ

!!
モシ
モシ

オレがやられたらどう
ただひたすら



あ…犯す？

何れも…
「アッ…」



ム…

「アッ…」



何とか
一撃くらわせ
られれば！



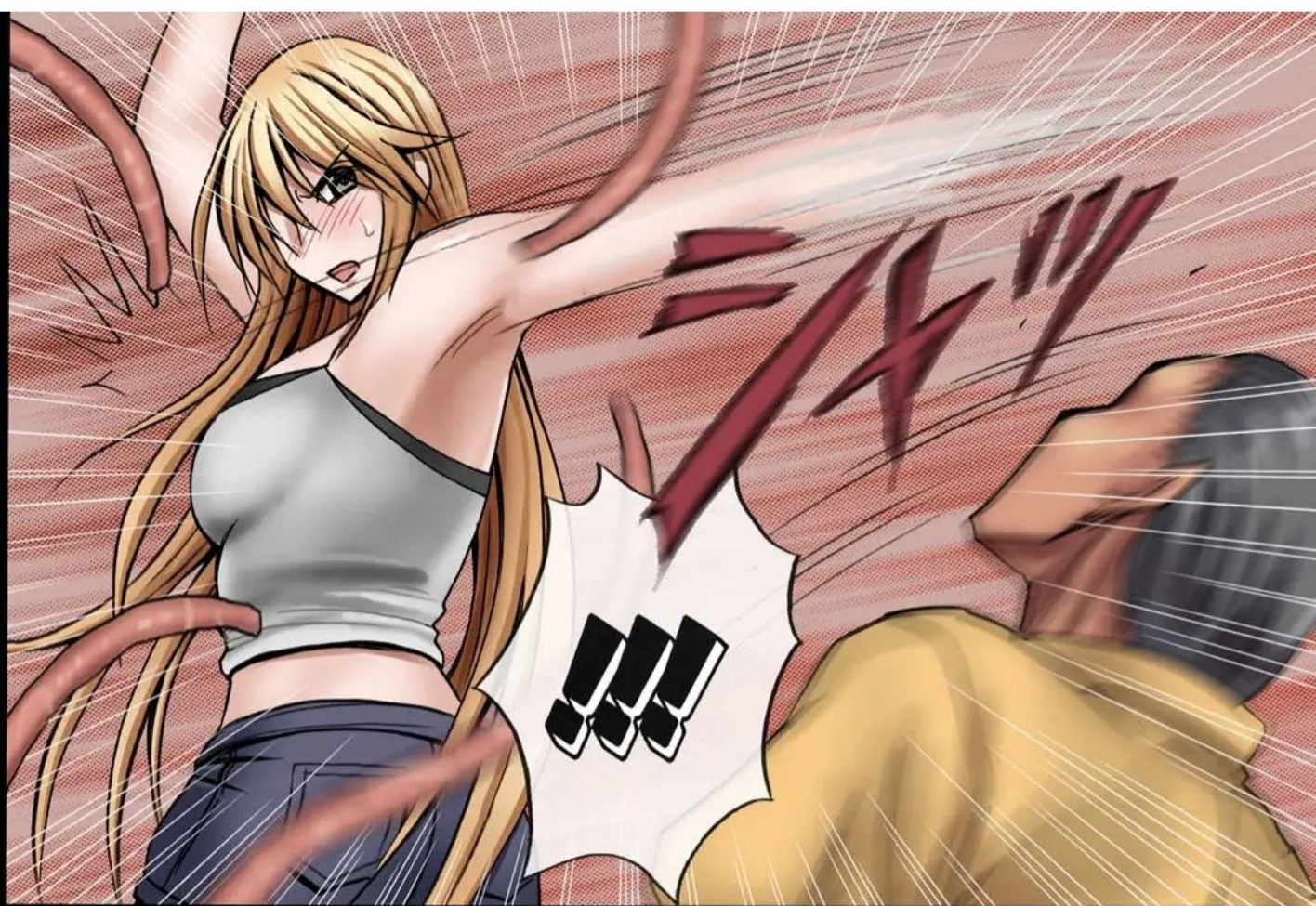
やっ…！

「アッ…」

お前みたいなの
強くていい女を

スッ

犯してえ
だけだよ！



危ない危ない

おっ...



くっ...



ズル

ズル

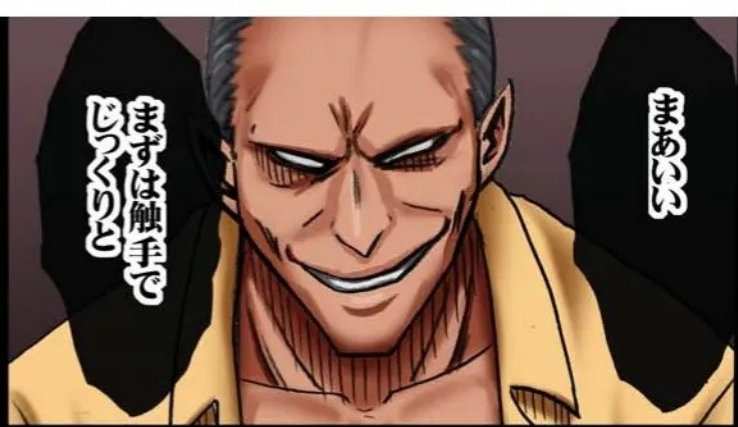
ズッ

もっさり
直接
触りまくりたかった
ところだが...

さすがに
調子に乗りすぎた。
近寄るとまずいか



カラダをこっぴけおせば
ひくとするか



まずは触手で
ひく

まも



やっ!

ゴムルル

いやッ!



何なの
この妖魔は……!

今までの妖魔は
ただ食欲や破壊欲の
おもむくままに
突っ込んでくるだけの
単純な奴ばかりだったのに



でも...こんな攻撃...

タメージを食ひつけてるわけじゃないし...

ヌル

ヌル

ヌル

ブル

恥ずかしいのさえ
ガマンすれば...!



まだ...
まだ勝機はある!

んんッ!!

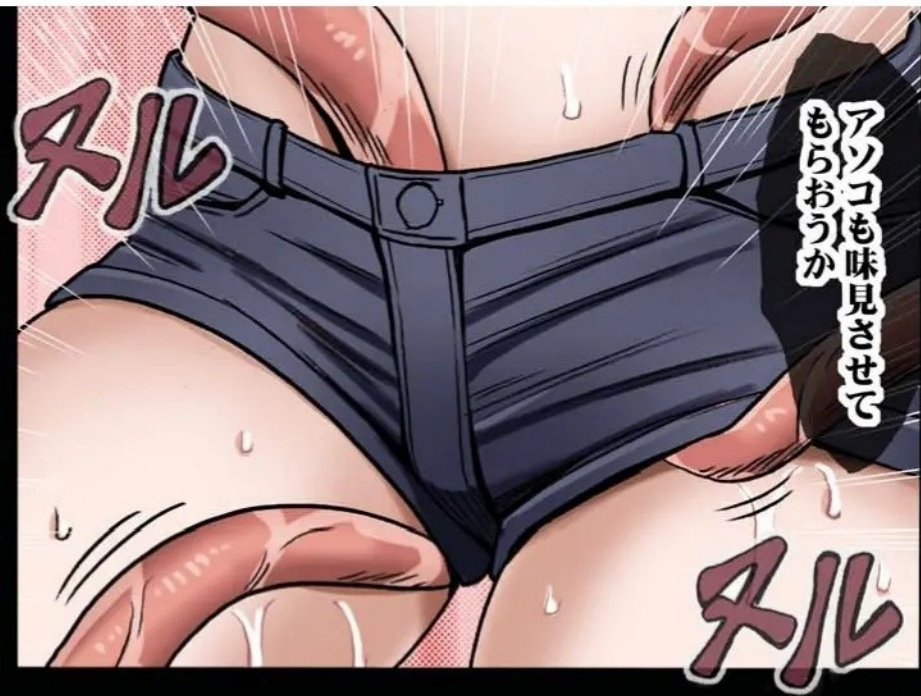


ぐっぐっ



ちゅるるっ

!!



アソコも味見させて
もらおうか



そいつー！

はっ！

ああッ！

ああッ！

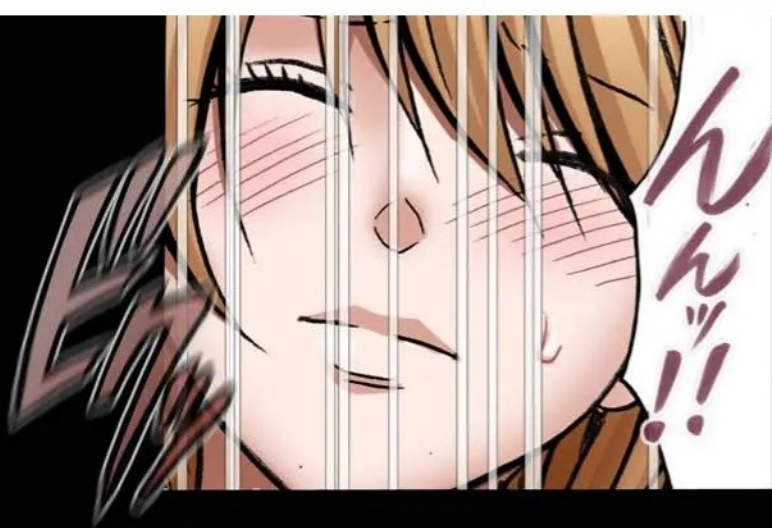
ヌル

もう
ヌルヌルだなあ

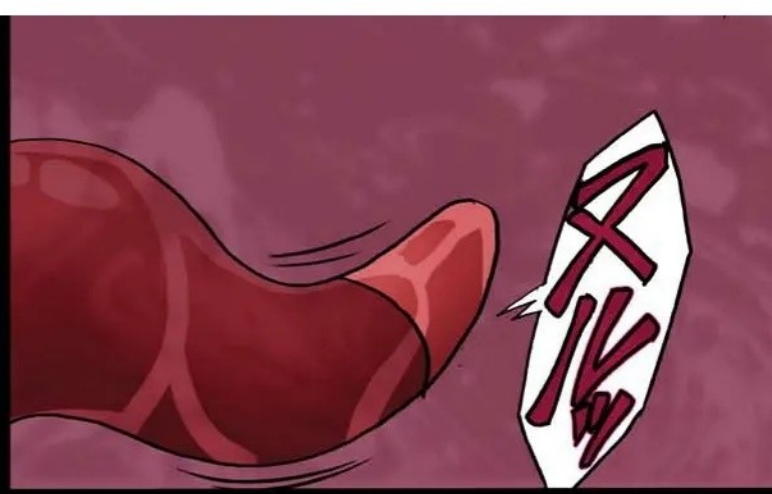
乳首いじられて
そんな気持ち
よかつたのかあ？

ヌル
ヌル

ヌル



んんッ!!

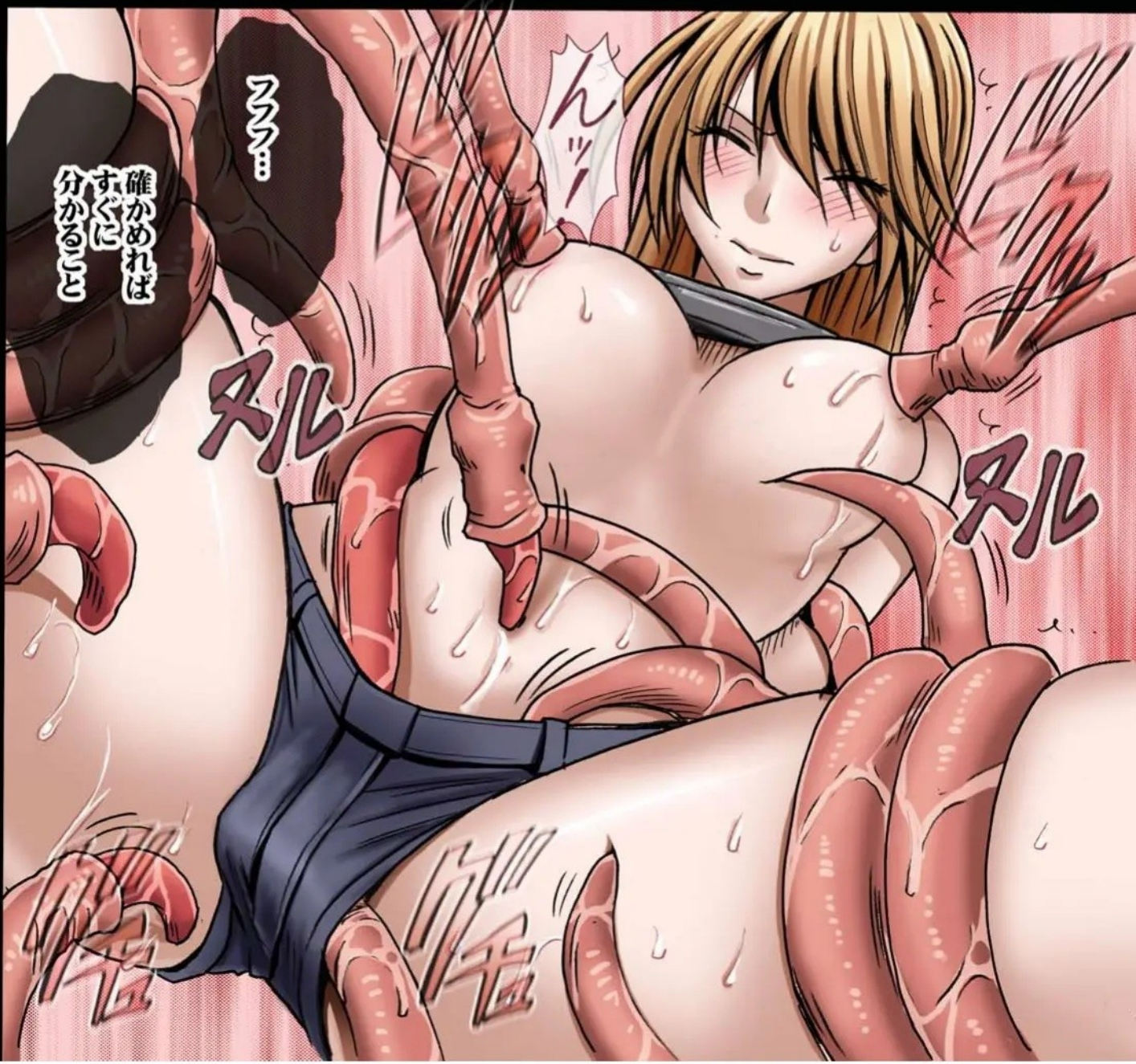


又ルッ

さてはアンタ
処女だな?
こついつ攻撃は
受け慣れてないと
見える



フフフ!!
その反応!!



確かめれば
すぐに
分かること

フフフ!!

んんッ!

又ル

又ル

又ル

ダメだ……！
反撃できない……！

いつでも陽魂衝を
打てる準備は出来たか……！

本体が
近寄ってこない……！

んんッ！！

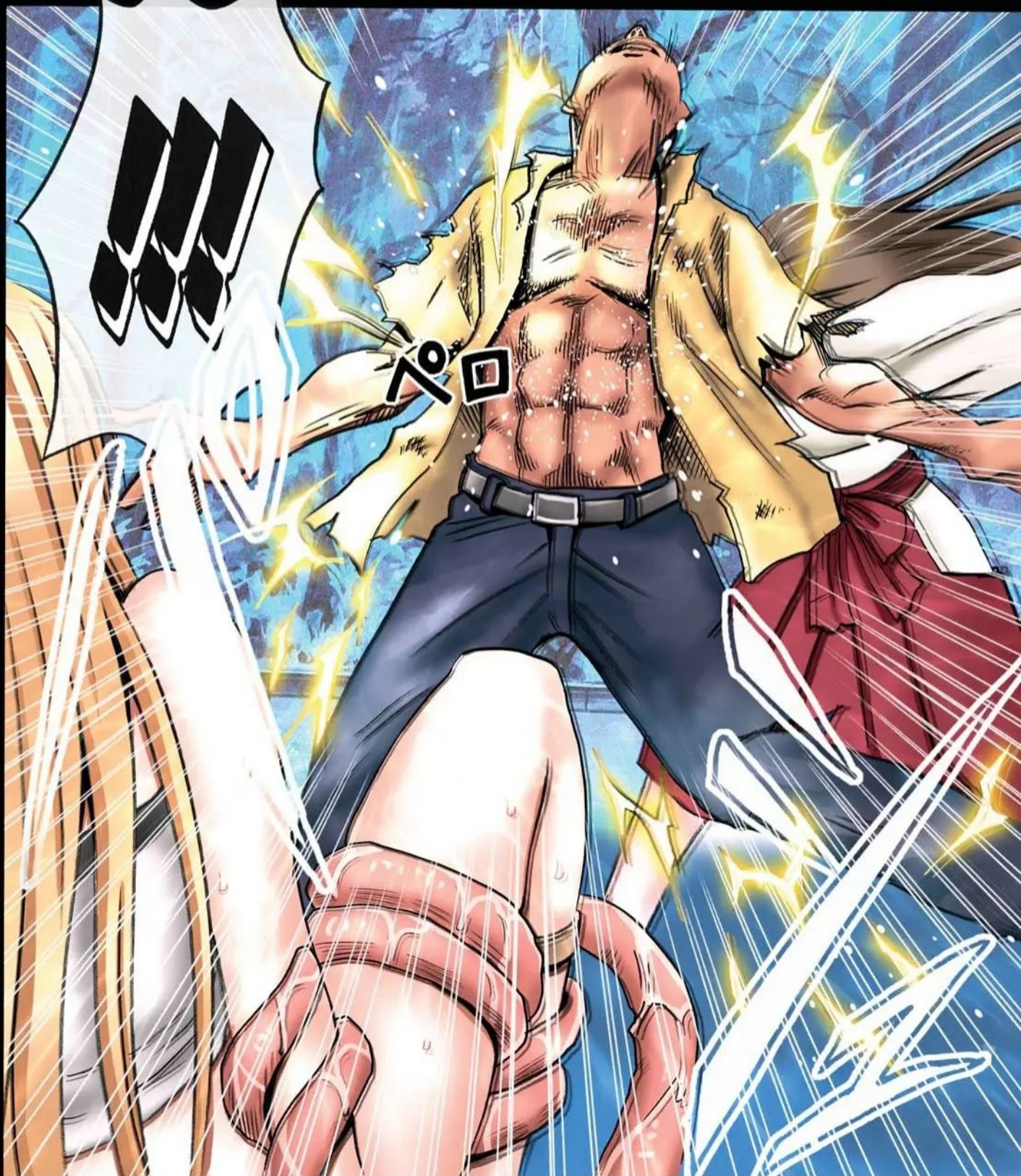
ちゅっ
ちゅっ

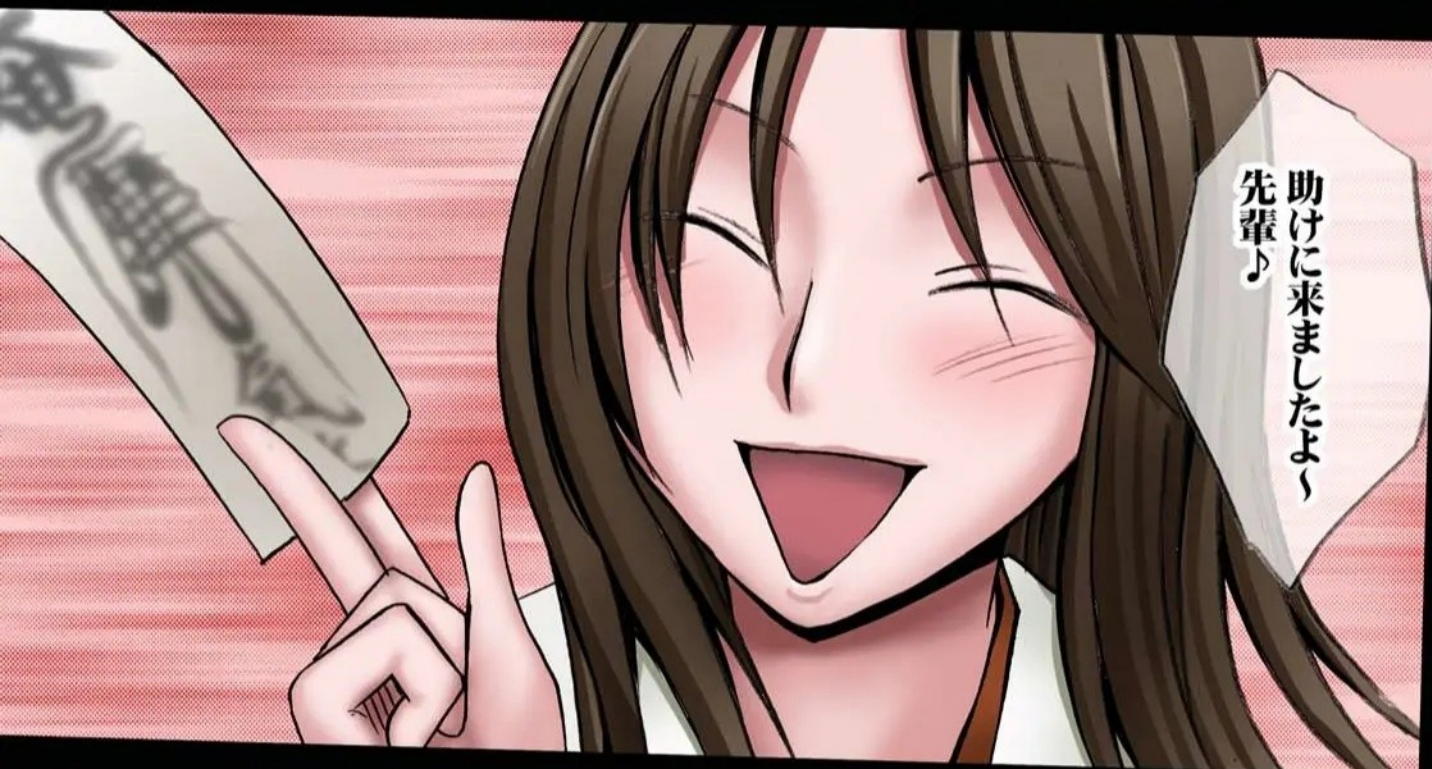
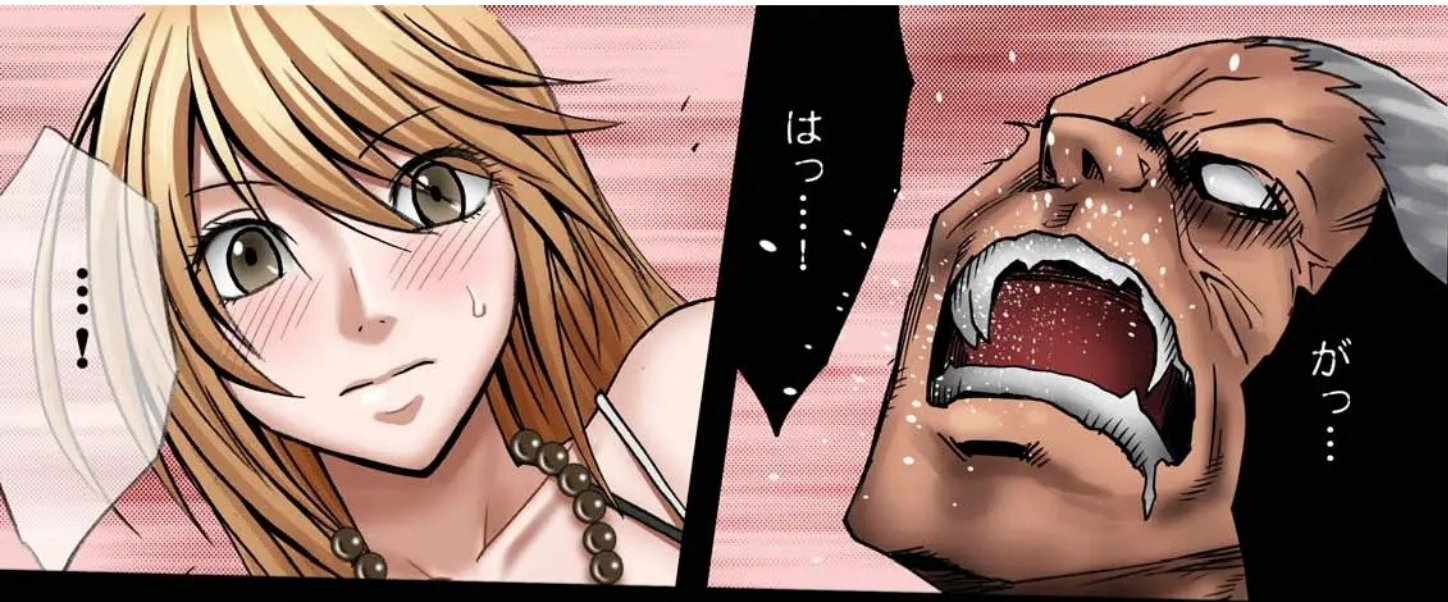
このままじゃ……！

ズル
ズル

ズル
ズル







陽魂衝！



三つもの



ふう…

何とか
倒せたわね…



えへへ

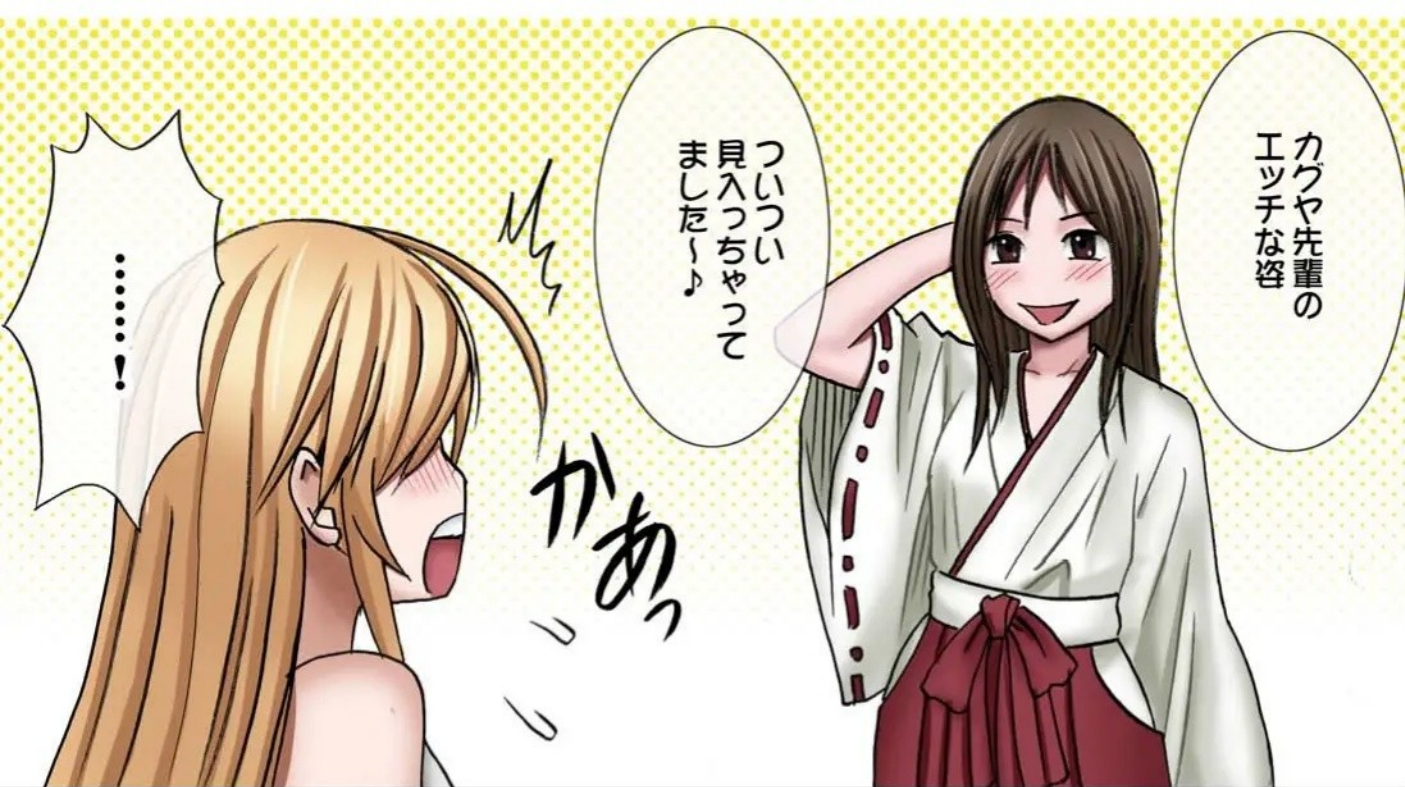
すみません
助けに入るの
遅れちゃって

ホントは
もうちょっと早く
気づいてたんですけどね



こんなに
ピンチになるとは
思わなかったわ…

ありがとう
メル…
助かったわ



カグヤ先輩の
エッチな姿

ついつい
見入っちゃって
ました〜♪

かあ
っ
っ



ねえ
さつきちゃんと
最後までイッて
なかったですよね〜

最後まで
やりますう?

い...いいわ!
ちよつと
やめッ...!

こうして
退魔士
川澄カグヤと
加羅石町の妖魔達との

怪しく淫らな戦いが
始まった

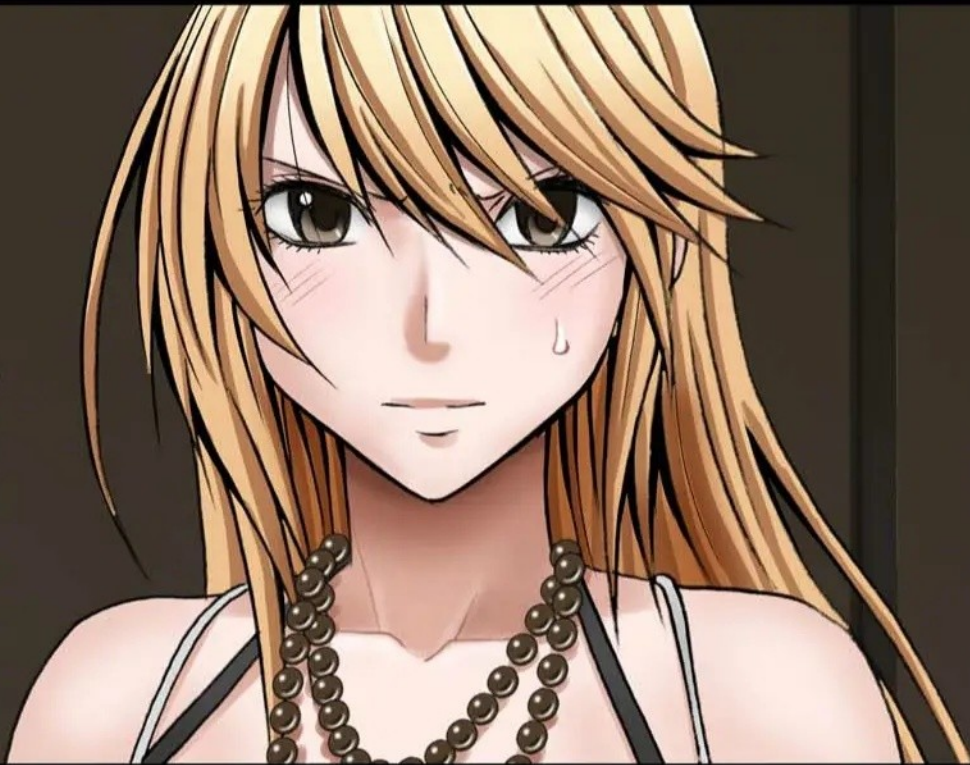




加羅石町に来てから
3日目

天才美少女
退魔士は

早くもピンチに
陥っていた



.....!

だからといって
あなたのその
おいしそうなカラダ
諦めるわけには
いきません

ですから

フフフ...

あなたが強いことは
充分承知しています

ここ2日で
二人もの同胞が
消滅させられたの
ですからね



用意
いたしました

人質を



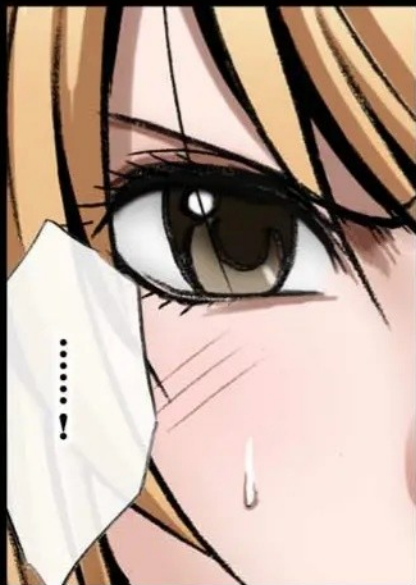
さあ
どうしますか？

ニヤ

あなたが少しでも
霊力を高めたり
攻撃的なそぶりを
見せたら
人質はすべて
一瞬で
殺します



…卑怯もの…!



……!



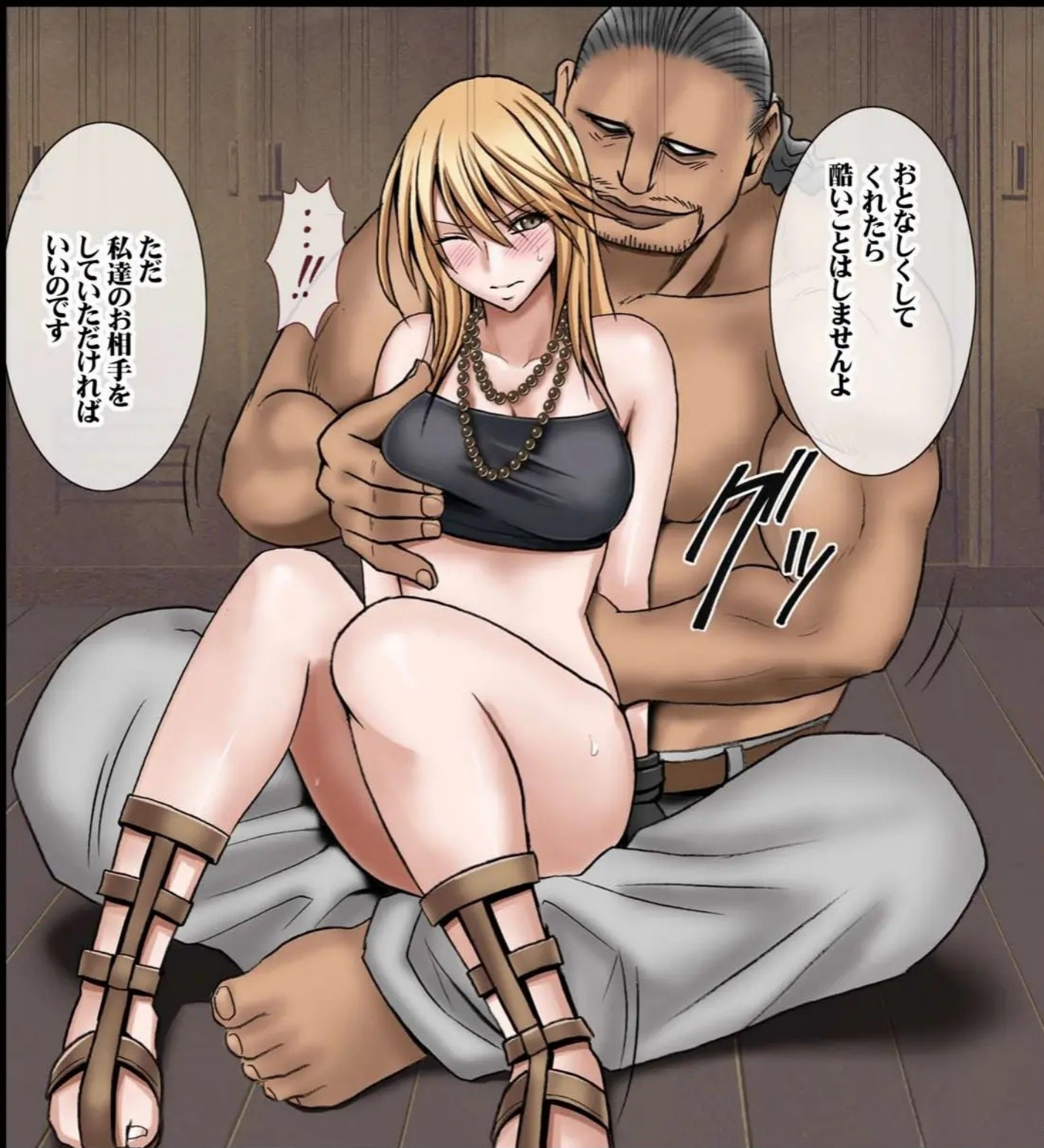
退魔士カグヤ

第2話

性欲を持った
敵との戦い

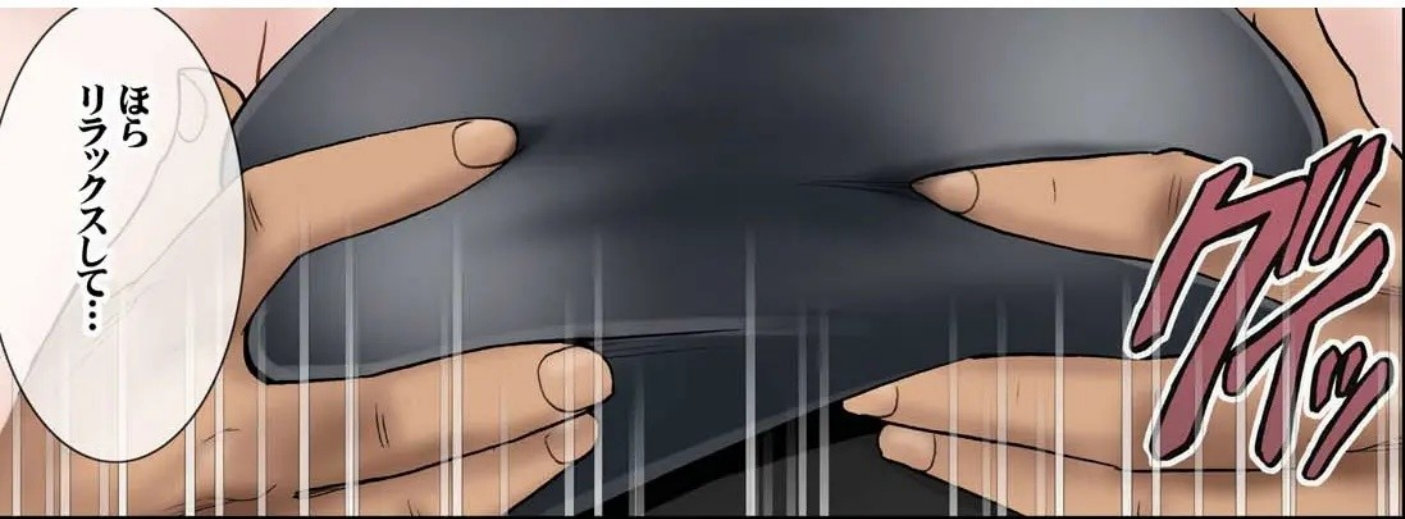


そうそう
それでいいんです



おとなしくして
くれたら
酷いじゃありませんよ

ただ
私達のお相手を
していただければ
いいのです



ほら
リラックスして…

グッ



すばらしい
胸ですね

実に揉みがいいが
ある

クッ

くっ!!

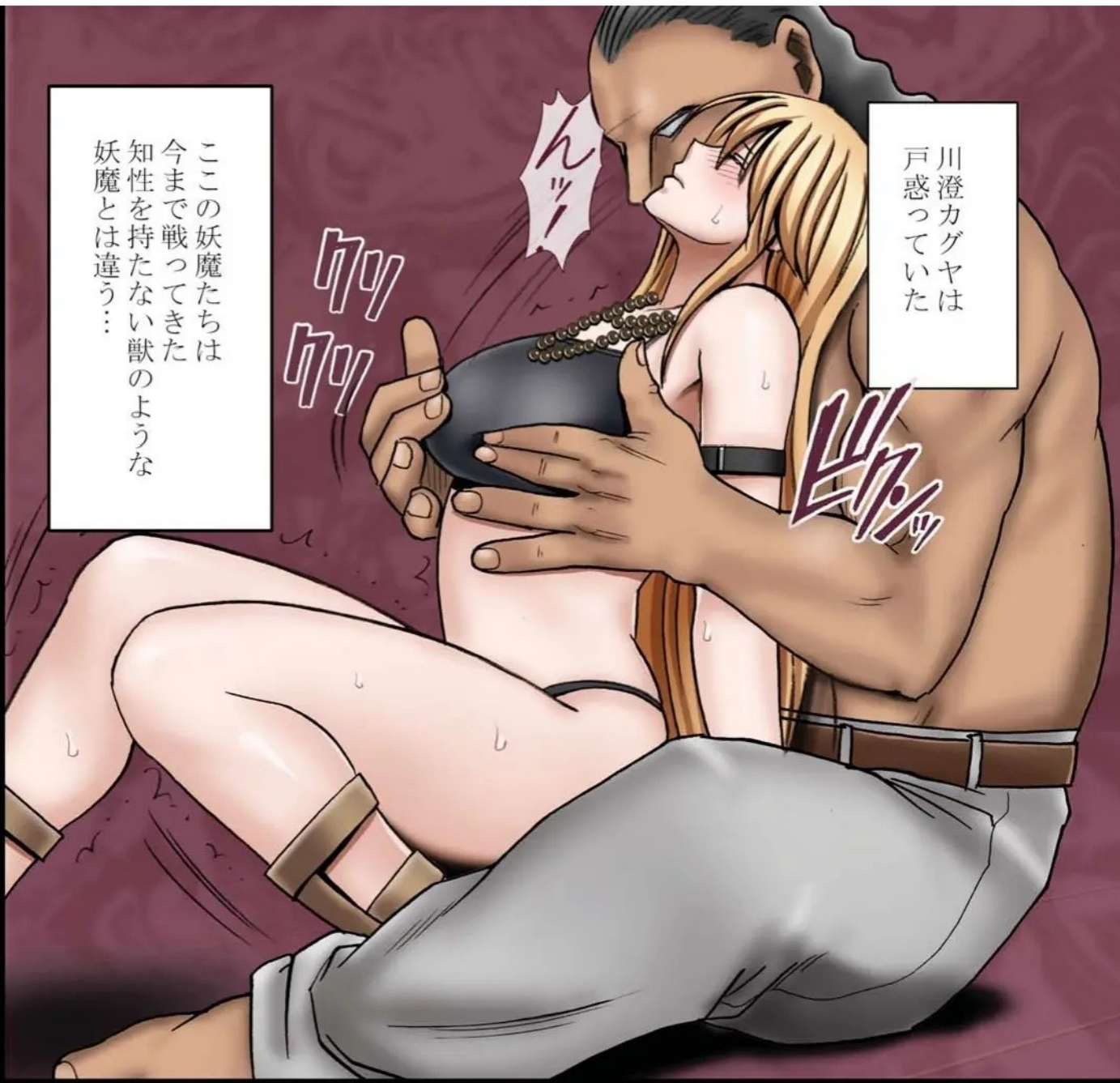
もみ
もみ

もみ
もみ



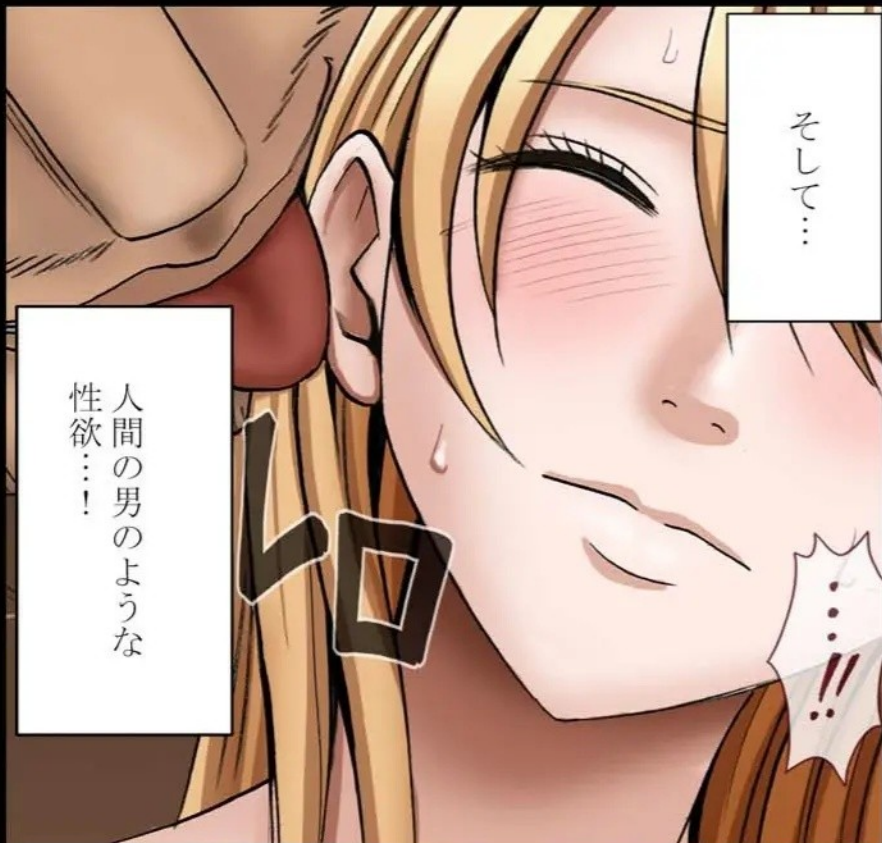
こ…こいつもまた
前の奴みたい…!!

この妖魔たちは
一体何なの？



川澄カグヤは戸惑っていた

ここの妖魔たちは今まで戦ってきた知性を持たない獣のような妖魔とは違う：

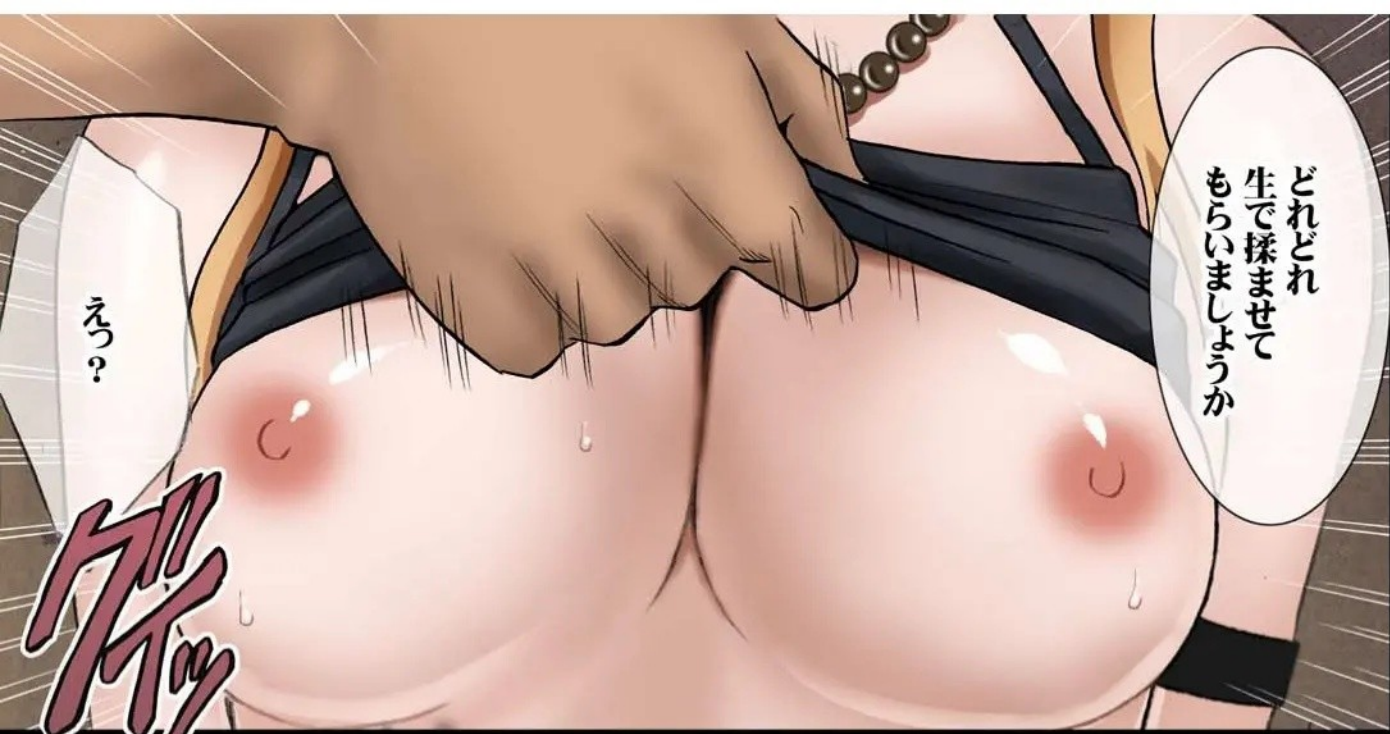


そして：

人間の男のような性欲…！！



人質をとる狡猾さ：



どれどれ
生で探ませて
もらいましょつか

えっ？

カッ
カッ



戦う相手が
自分を性的な対象として
責めてくる

妖魔との純粹なバトルに
明け暮れていた退魔士には
すべてがはじめての事で

んんッ!!

モッ
モッ

モッ
モッ

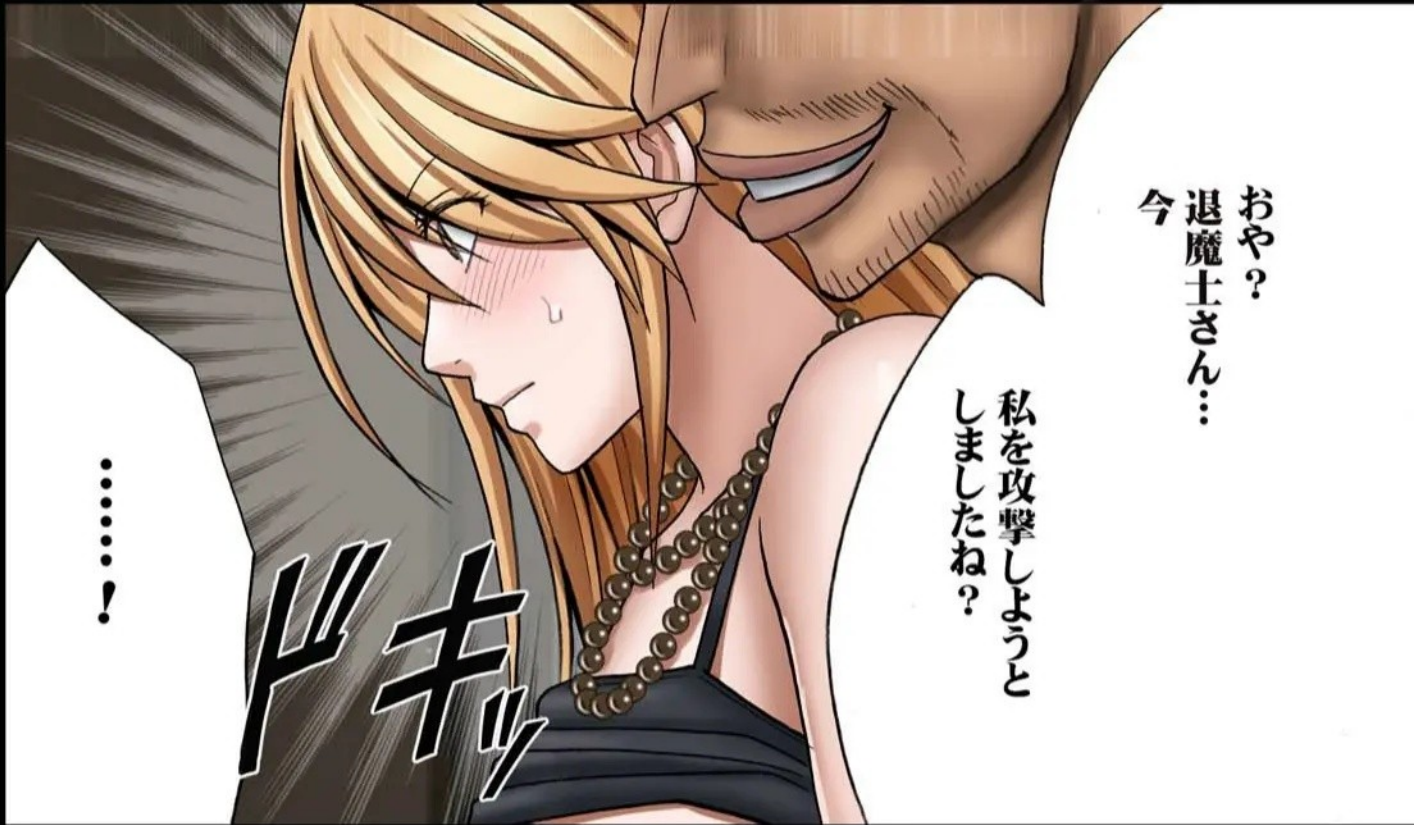
完全にペースを
狂わされていた



人質さえいなければ
この程度の妖魔なんか…!!



くっ…
こんな好き放題
されるなんて…



おや？
退魔士さん…
今

私を攻撃しようと
しましたね？

ドキッ

……!



今回は特別に
見逃してあげましょう

次…また私に対して
攻撃の意を見せたら
どうなつても知りませんよ

……



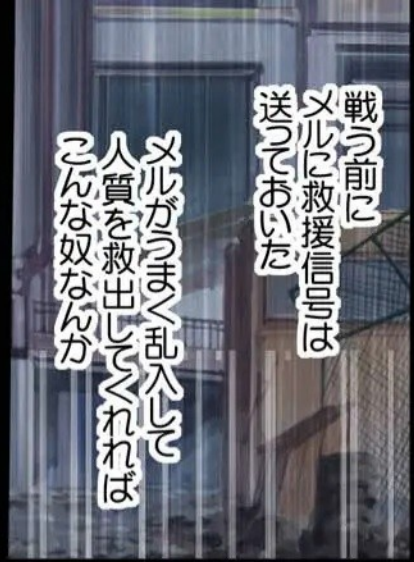
いいんですか？

人質がどうなつても…

三十



でも…まだチャンスはある…!!



戦う前に
メルに救援信号は
送っておいた

メルがつまぐ乱入して
人質を救出してくれば
こんな奴なんか



……!

スッ



キキッ

やっ!
な…何を…!



ヌル〜

ヌル





では…
次はもっと敏感な
乳首に…

や…やめろッ…



どうですか？

感じてきましたか？



あああ
あッ
!!!

ピチャッ

ピチャッ



効果テキメン
ですか？

やはり乳首は
効きますなあ



ほら
こっちの乳首にも...

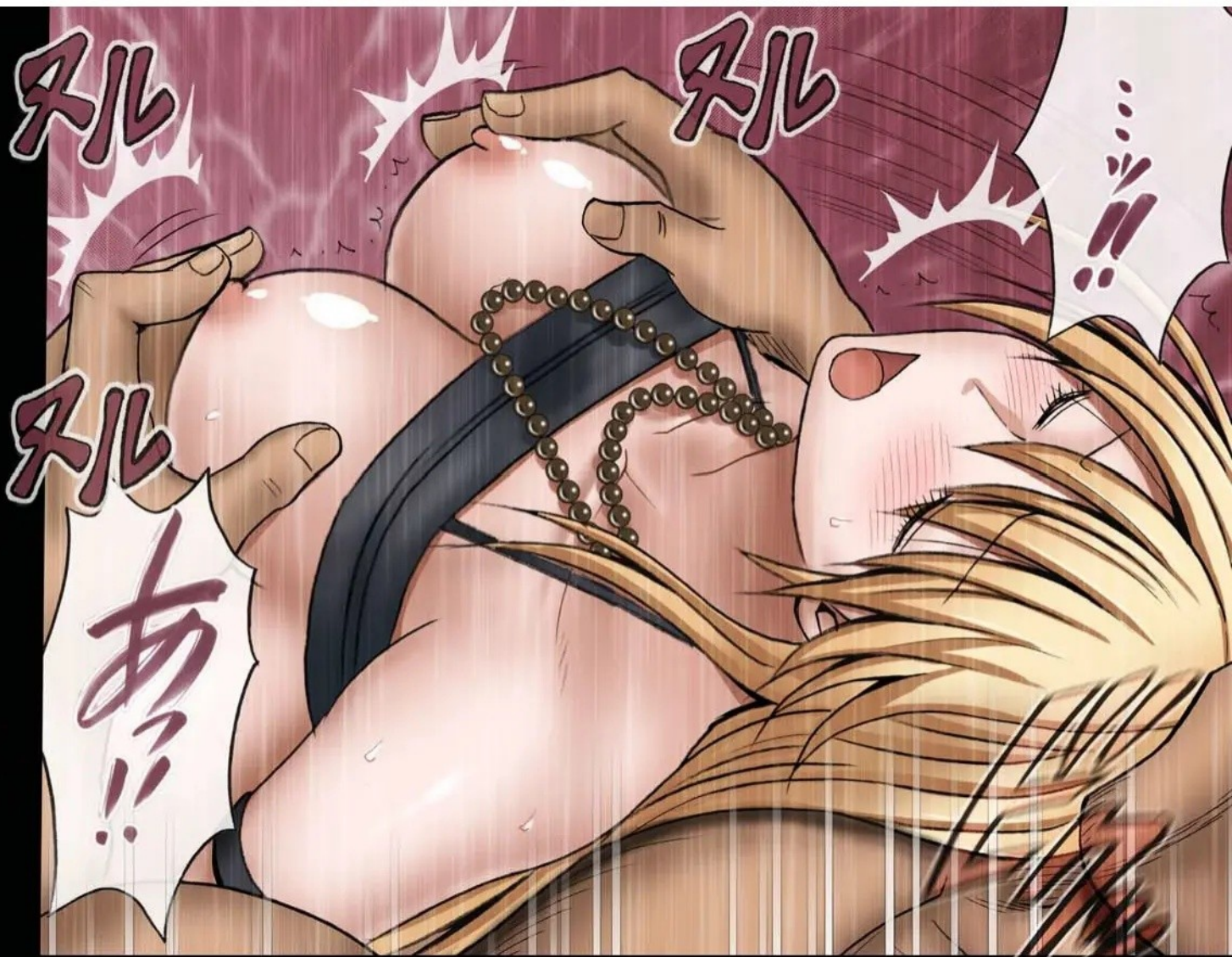
ヌル



フワフワ...
ビクビクしてますね

はあ!!

ヌル
ヌル





あなたのカラダすべてを
私好みに
染め上げてしまいたいです

や...やめろっ！



いやっ！





はぁうらうら



どんどん
敏感になっちゃう...

んんッ!!



ダメッ!

んんッ!!

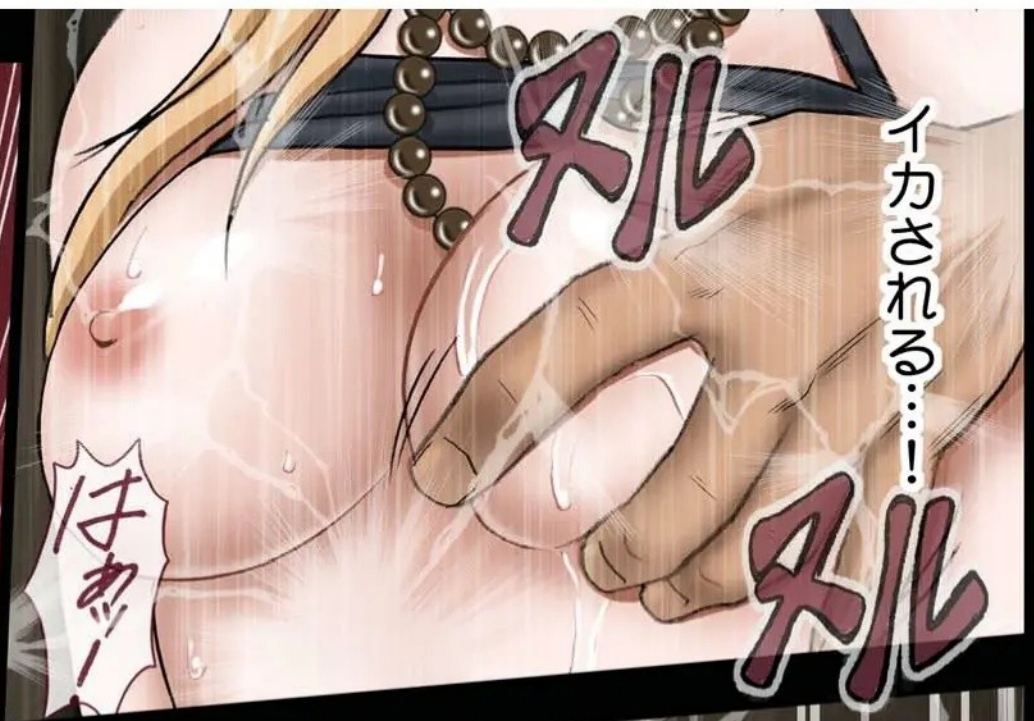
んんッ!!



ガマンできない!

あぁッ!!

ブルブル



イカされる…!!

はぁッ!



私…
妖魔の手で…



イカされる!

ふるふる

イカされるツ…!!



うわー

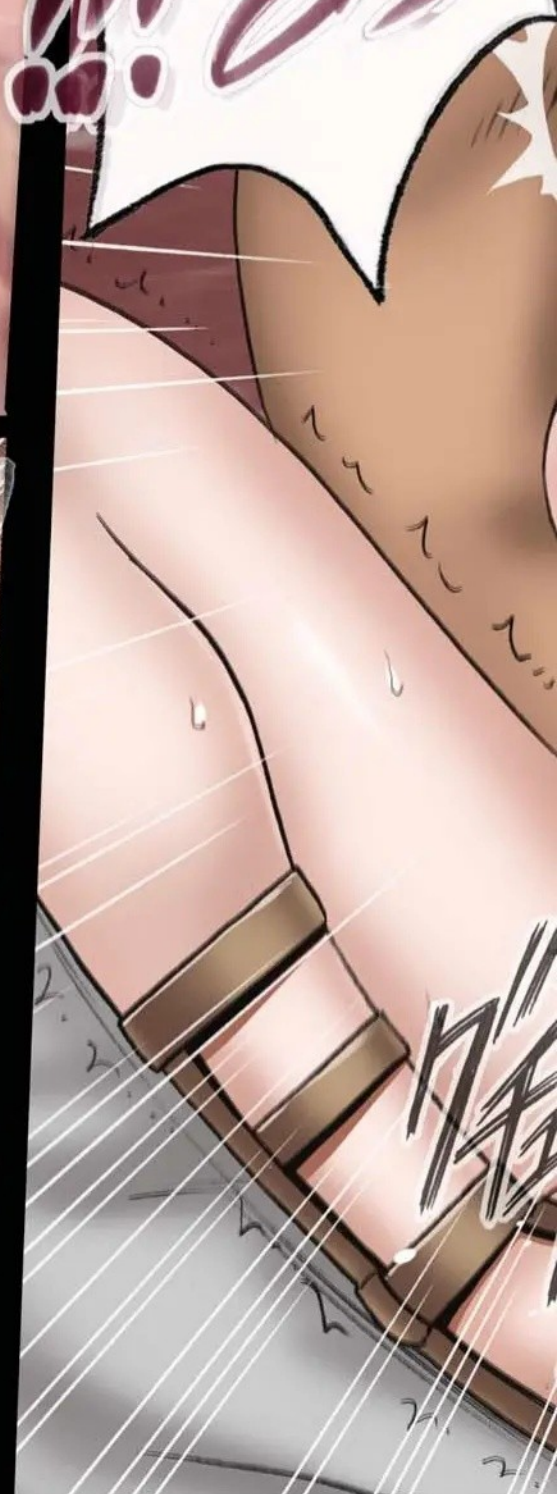
うわー



あああ
あッ
!!



.....
!?



クッ



靈力が吸い取られた
みたいなの...!?

今...!


な...何...?



さすがは退魔士…
すばらしい精気を
お持ちのようで

指でイカせただけで
これだけの美味

……！

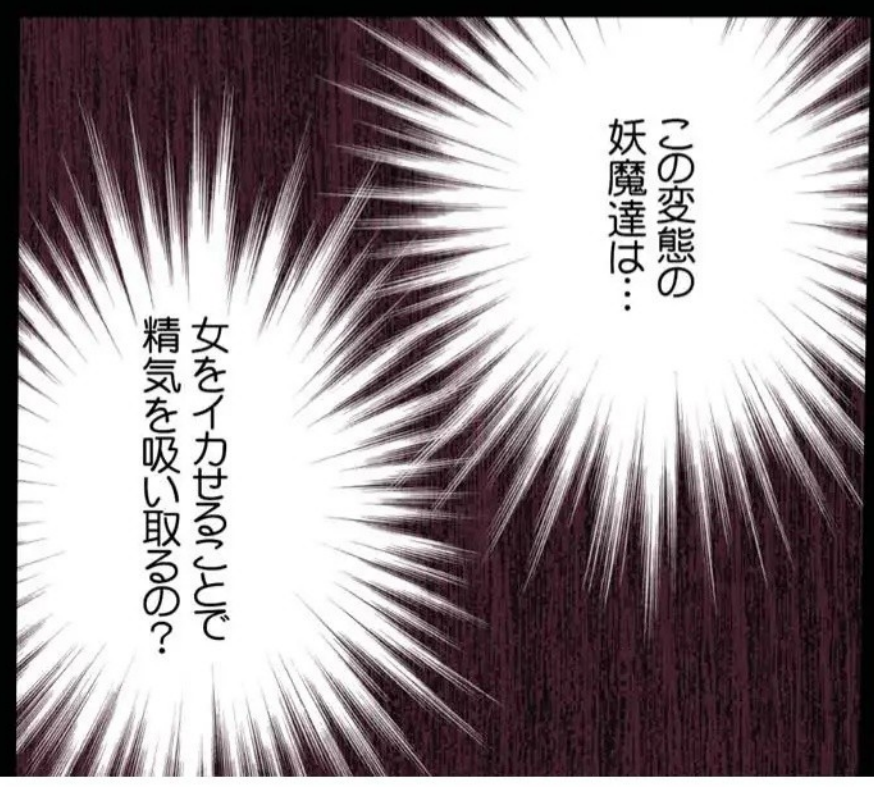


これは
ペニスを入れて
イカせまくったら

どれほどの
最高の精気を
味わえるのやら



まさか…！



この変態の
妖魔達は…

女をイカせることで
精気を吸い取るの？



フフフ…
またイキそう
ですねえ

絶対に…
絶対にイキたくない!!

ゴクッ

んッ!

ゴクッ



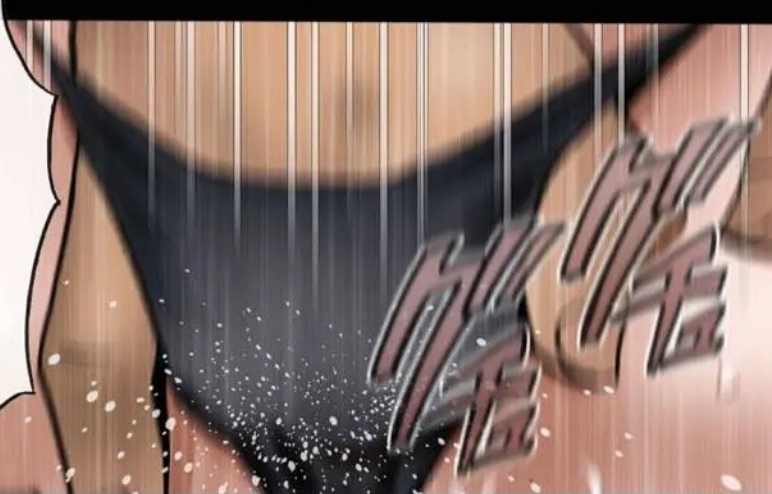
どっすれば…!



でも人質を
捕られている以上
反撃できない…!!



どっすれば…!

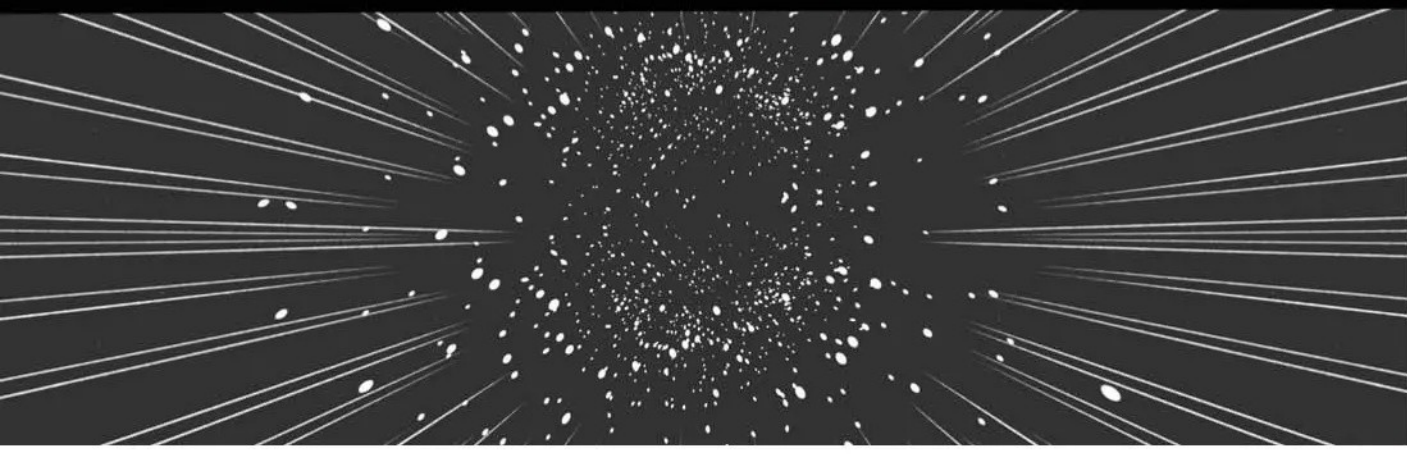


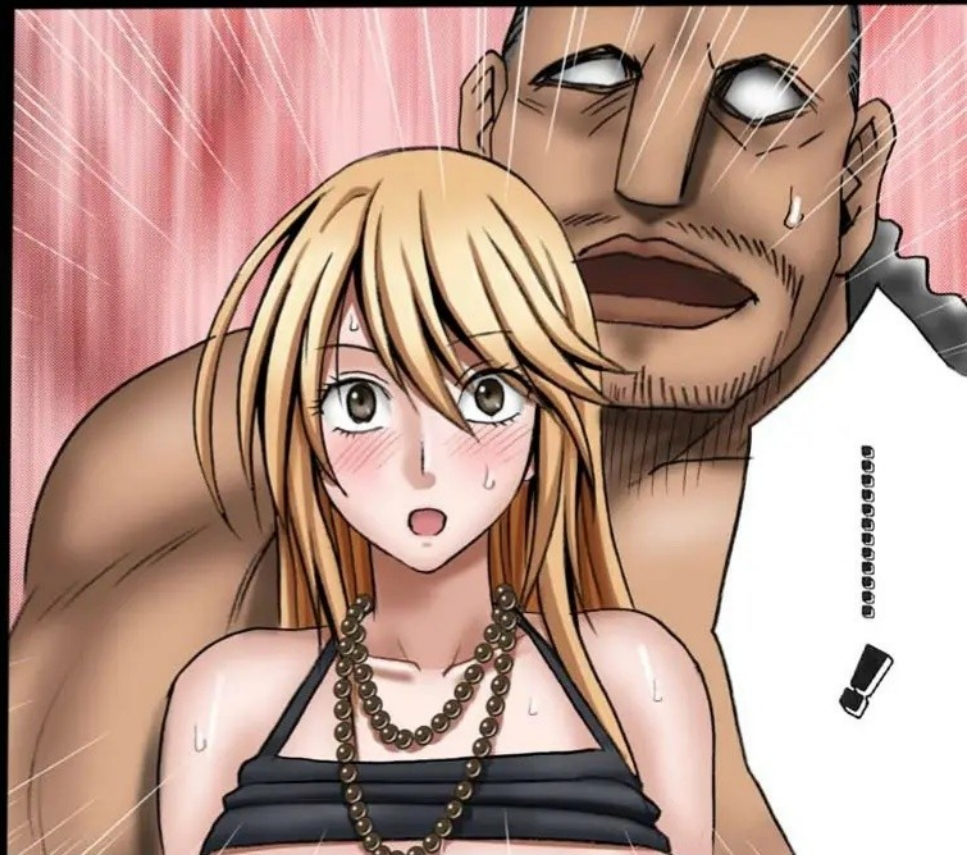
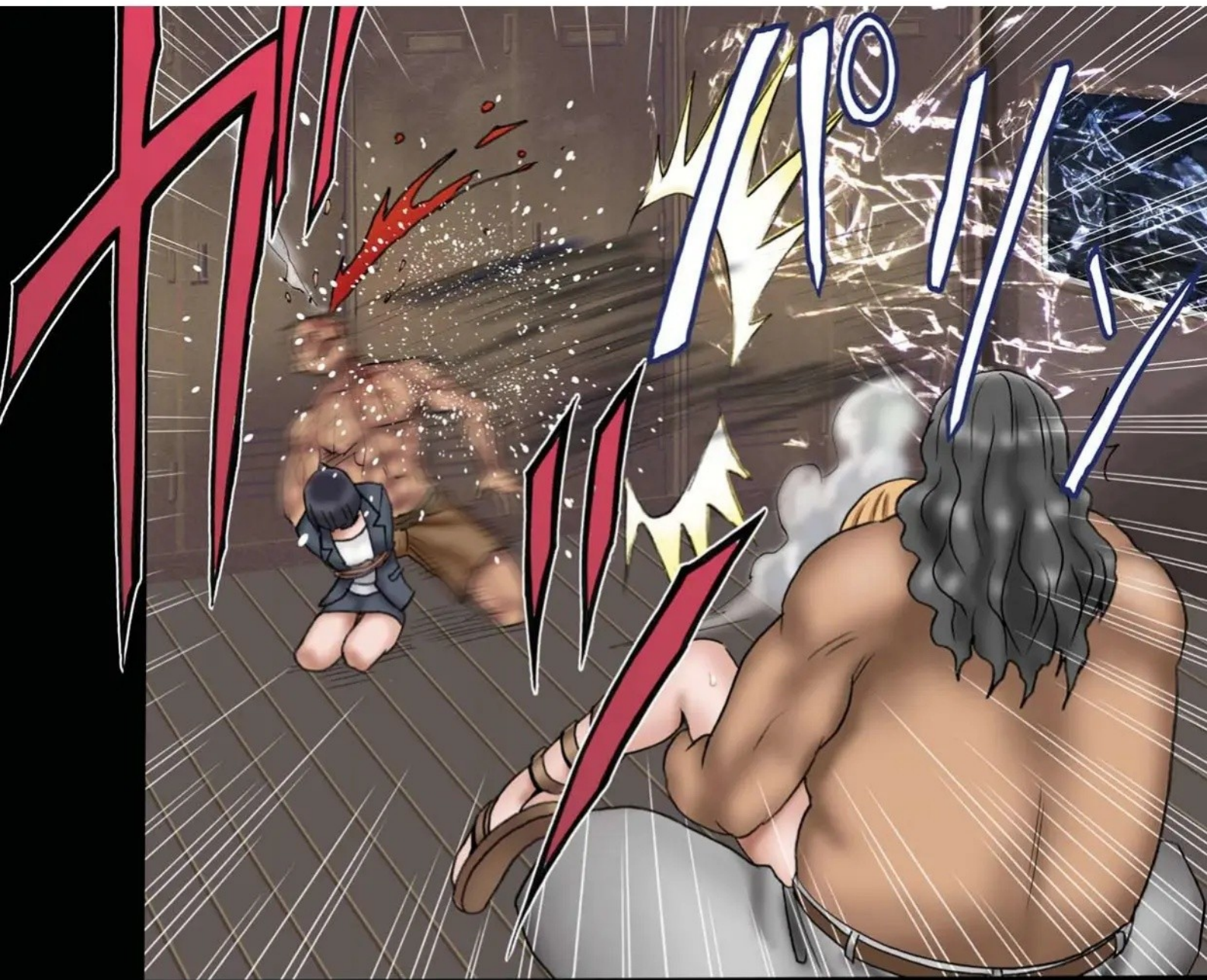
ゴクッ

ダメッ！

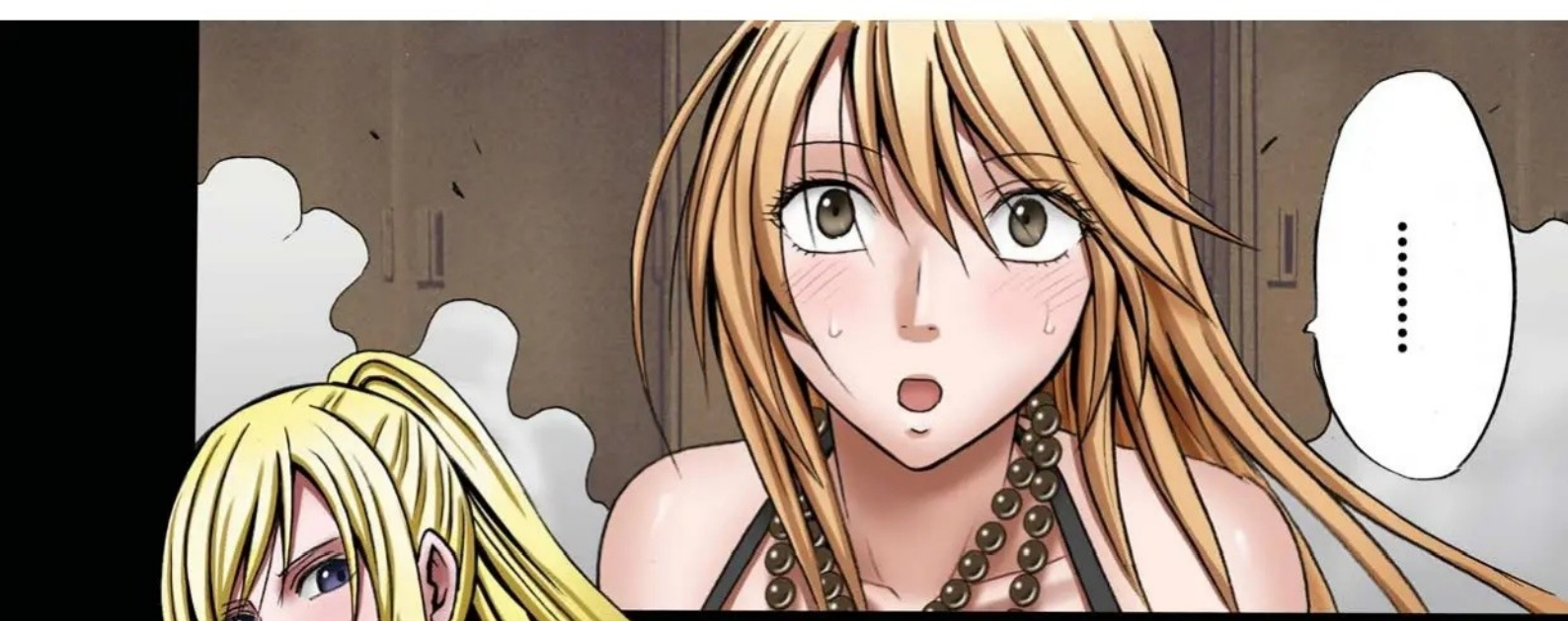
はぁぁぁッ！！

また…イミちぢぢ…！！













昨日先輩を
助けた
女の人なんですけど…

彼女は
ケーシヤさん

助っ人として
追加で派遣された
A級退魔士です



それだけでも…

追加でA級退魔士が
派遣だなんて…



こんなこと
初めてね…

人質を

やっぱりこの町の妖魔は
タダモノじゃないって
ことなのね…

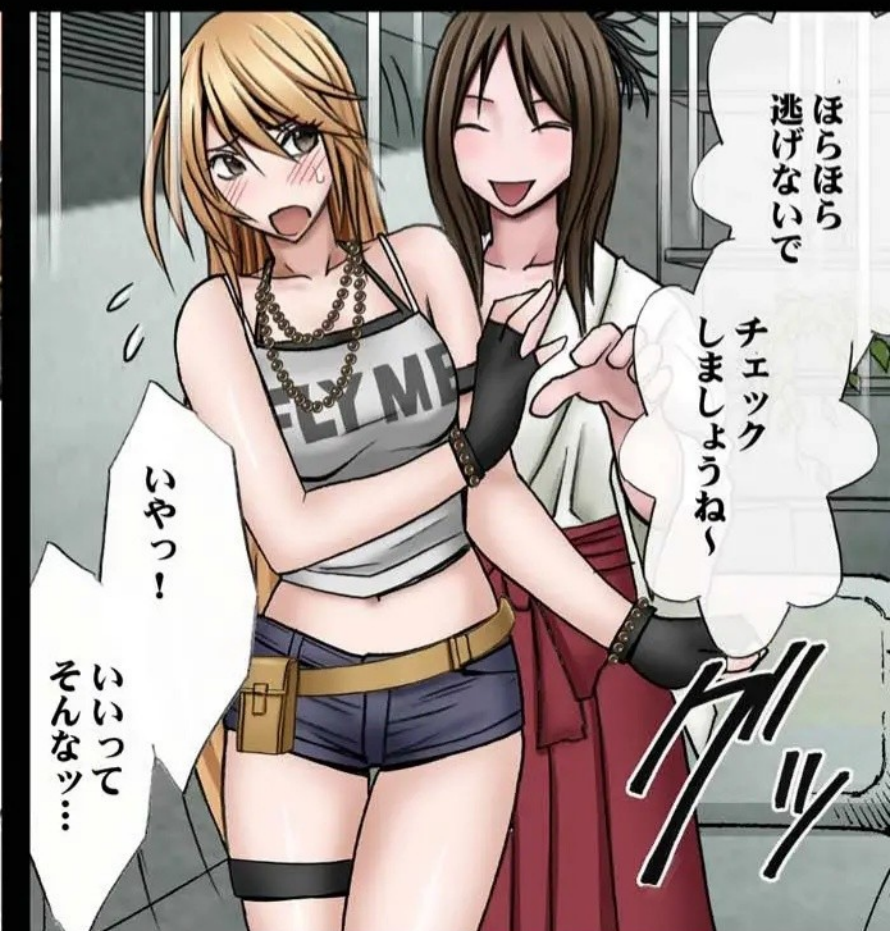
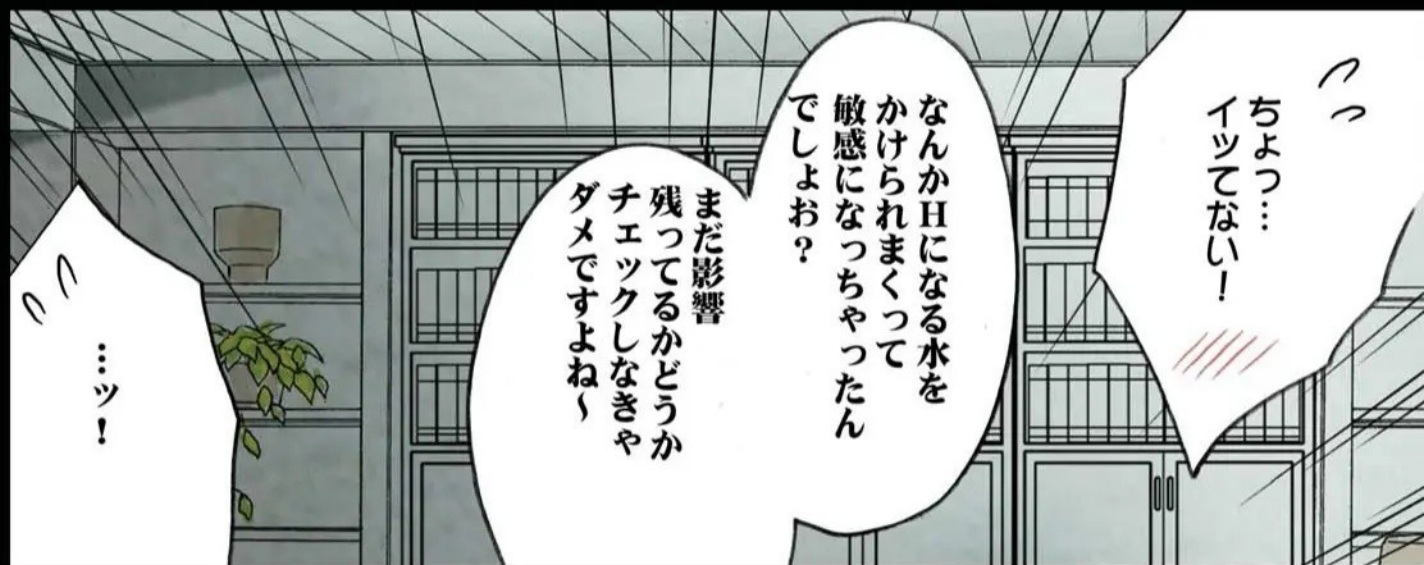
用意
いたしました

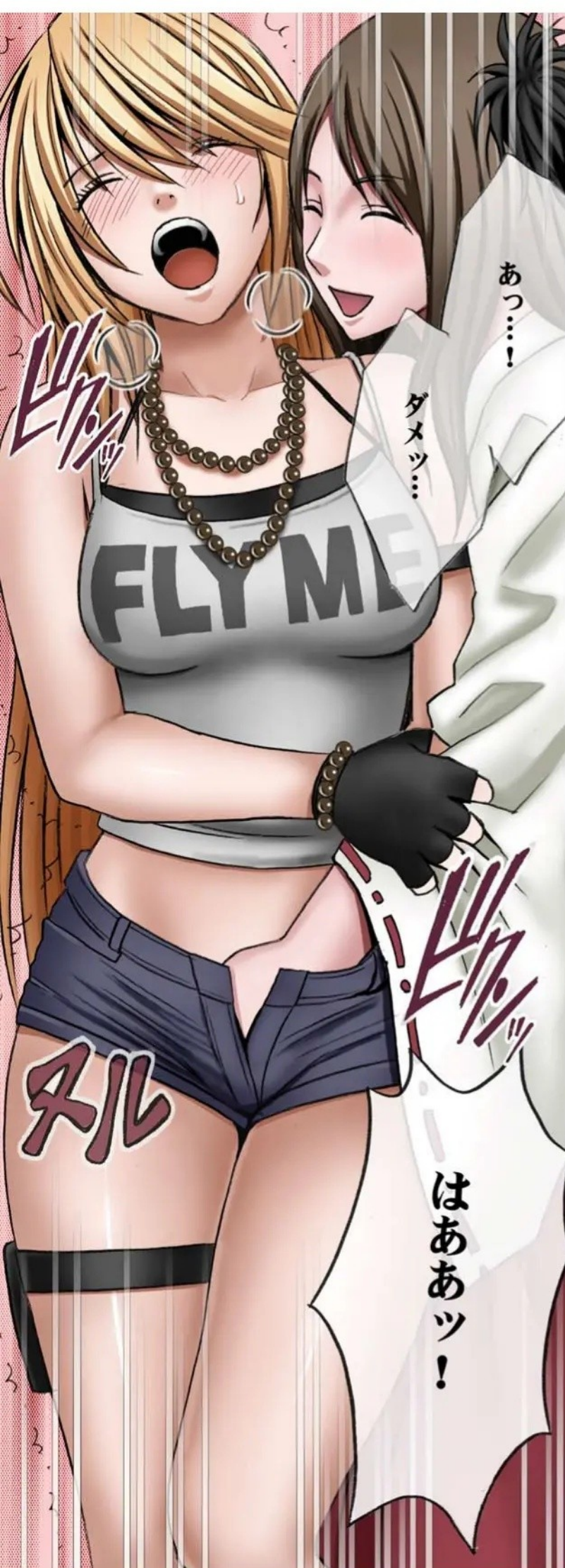


霊力は
カグヤ先輩ほどじゃ
ないですけど

もともと軍の
特殊部隊出身で
身体能力は
すごいんですよ

そうだったのね…
タダものじゃないと
思ってたけど…





あッ……!

ダメッ……

ブル

はああッ!



あッ
こっちも敏感になっ
ちやっつてますねえ♥

これは
しばらくこのまま
かもしれませんねッ

はあッ!

スリ
スリ

これじゃ
妖魔との戦いで
不利ですよねッ

ここの妖魔たちって
みんなエッチです
もんねッ



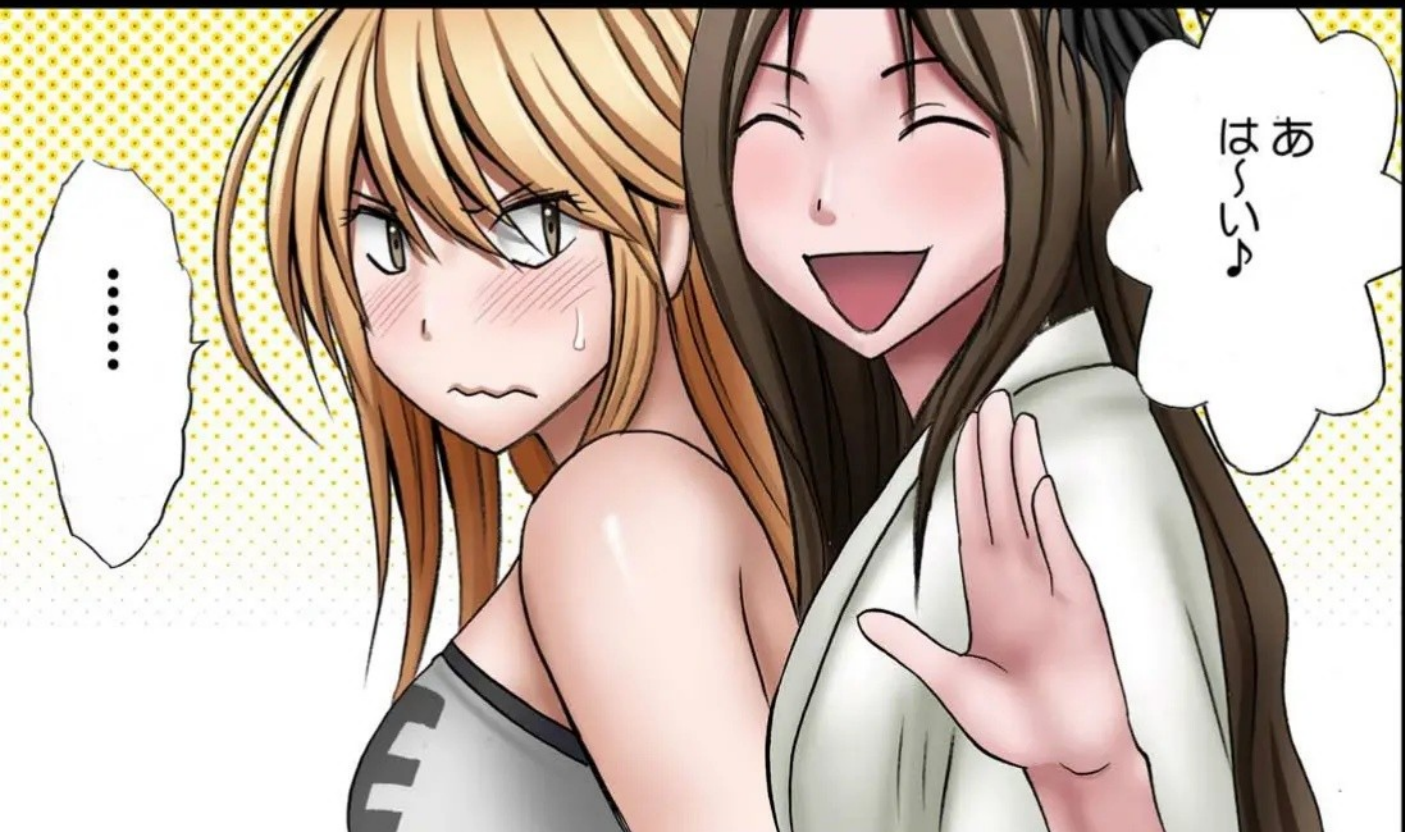
ちよつと!
メル!

やり
すぎッ!



日な攻撃を
ガマンする
練習もしなきゃ
ですなえッ♪

スッ



第3話

電車の中で
操られた人間に
押さえつけられ…

電車で
若い女性が
突如意識を失う事件が
多発している

中にはいまだに
意識が戻らない者も
いるらしい

原因は不明

おそらく
妖魔の仕業と踏んだ人
は
調査に乗り出した

確実に妖気を感じる

この中に妖魔が！

前の妖魔が
言っていることが
本当なら

奴らは女を犯して
精気を吸い取る

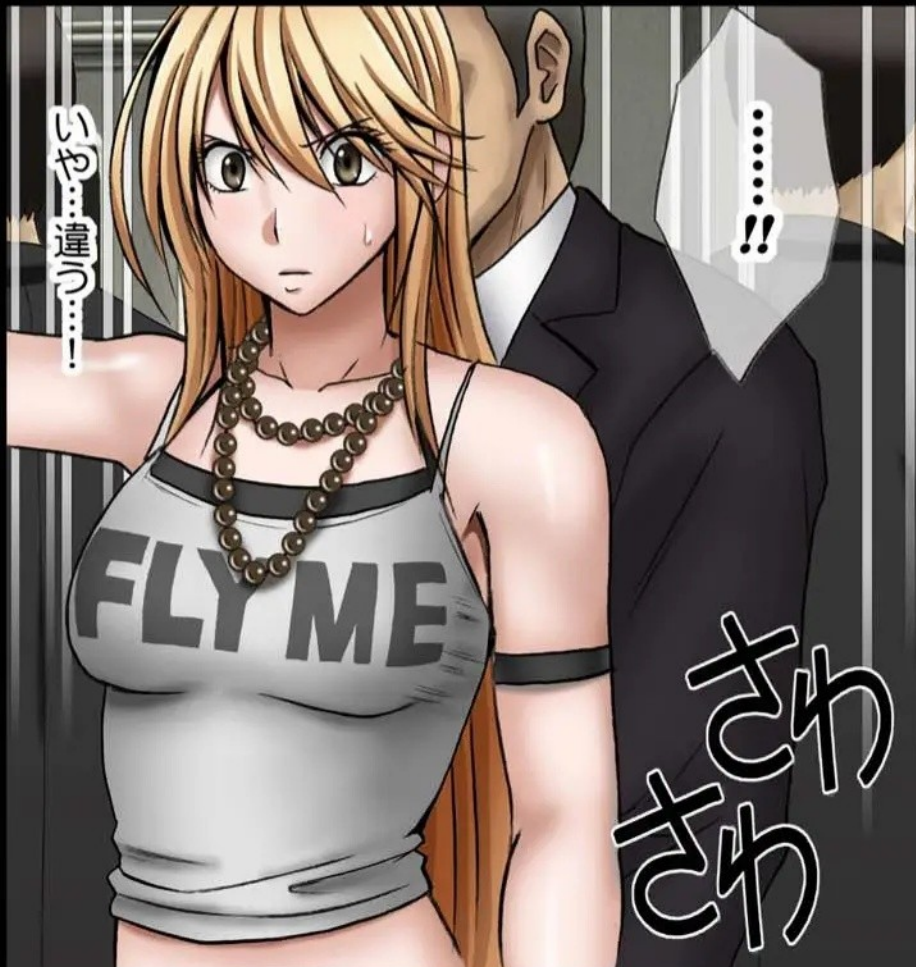


この人ごみの中に
まぎれて

だっしたら
お尻叩く



スッ



さっさっ
さっさっ

……!!

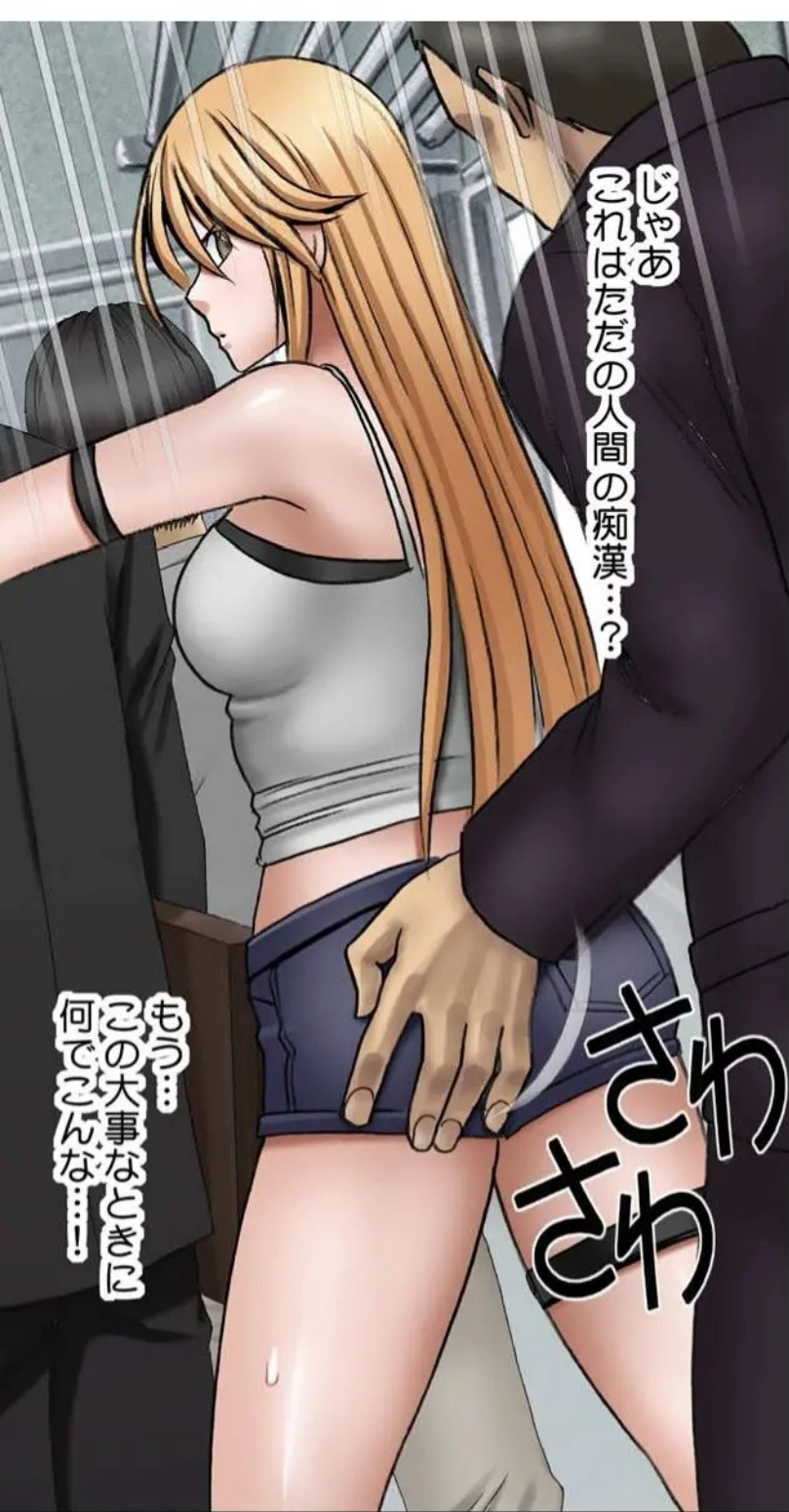
さっ
さっ



来た……!

妖魔……!

!!!



じゃあ
これはただの人間の痴漢…？

さわ
さわ

もう！
この大事なときに
何でこんな…！



この人からは
直接妖気は伝わって
こない…！



この感じ…
妖魔じゃない…！



えっ？



グッ



グッ

……！





動けない…!!

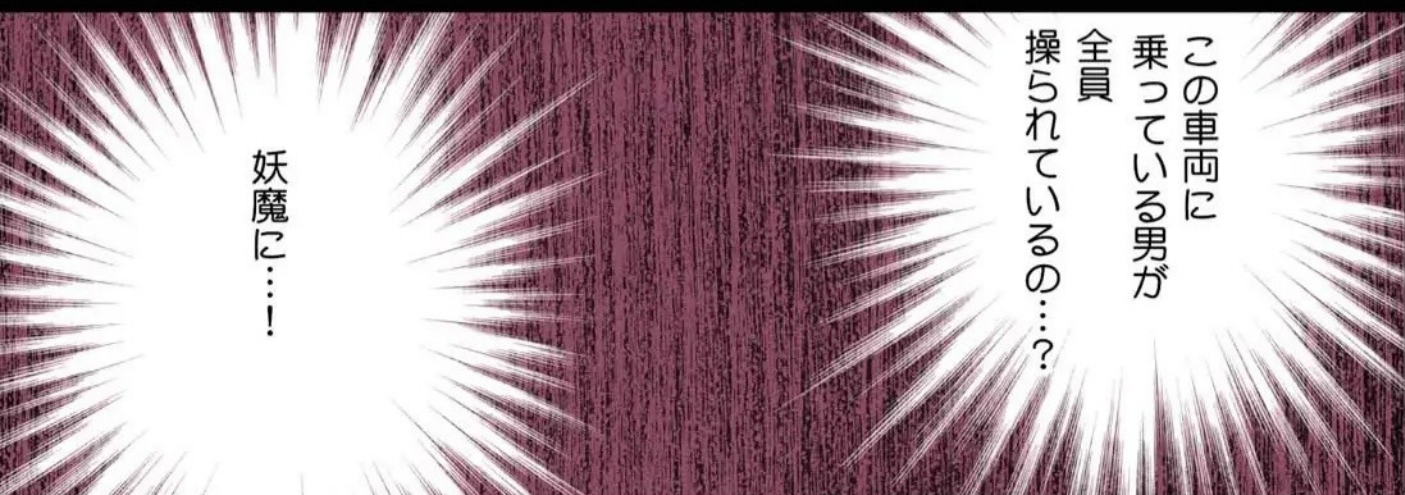
手足が完全に
押さえつけられて…!!

何でこんなに
統率が…!!



集団痴漢…??

いや…違っ…!!



この車両に
乗っている男が
全員
操られているの…??

妖魔に…!!



操られているとはいえ
一般人に
手を出すわけには…!

んっ…!



んっ…!!

クク

クク

クク
クク





意識が…
快感に奪われる！

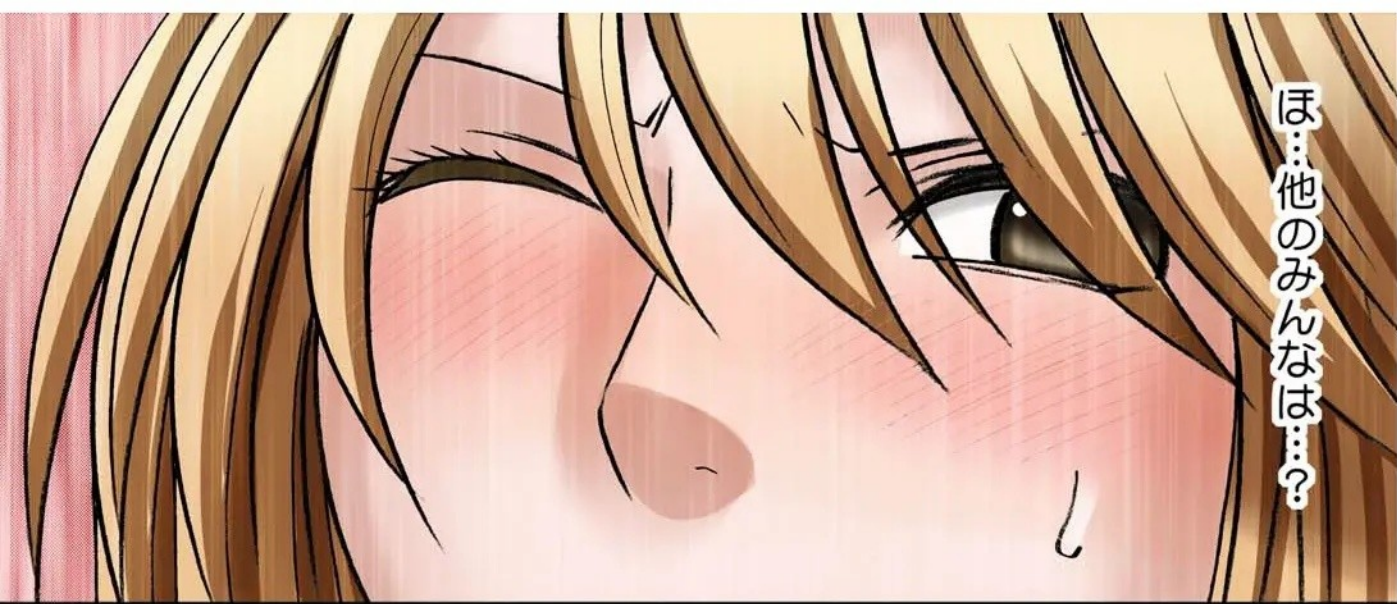


ダメだ…！



まだ
服の上から軽く
触られてるだけなのに…！





ほ…他のみんなは…？



ヌル…！！

やつ…！！

いやあつ…！！

は…はなせ！

目を覚ませ
バカ！

グッ
グッ

カッ
カッ



そうですね
フフフ

んっ...

やっぱり
白人のカラダは
たまらないですね

!!

ウッ

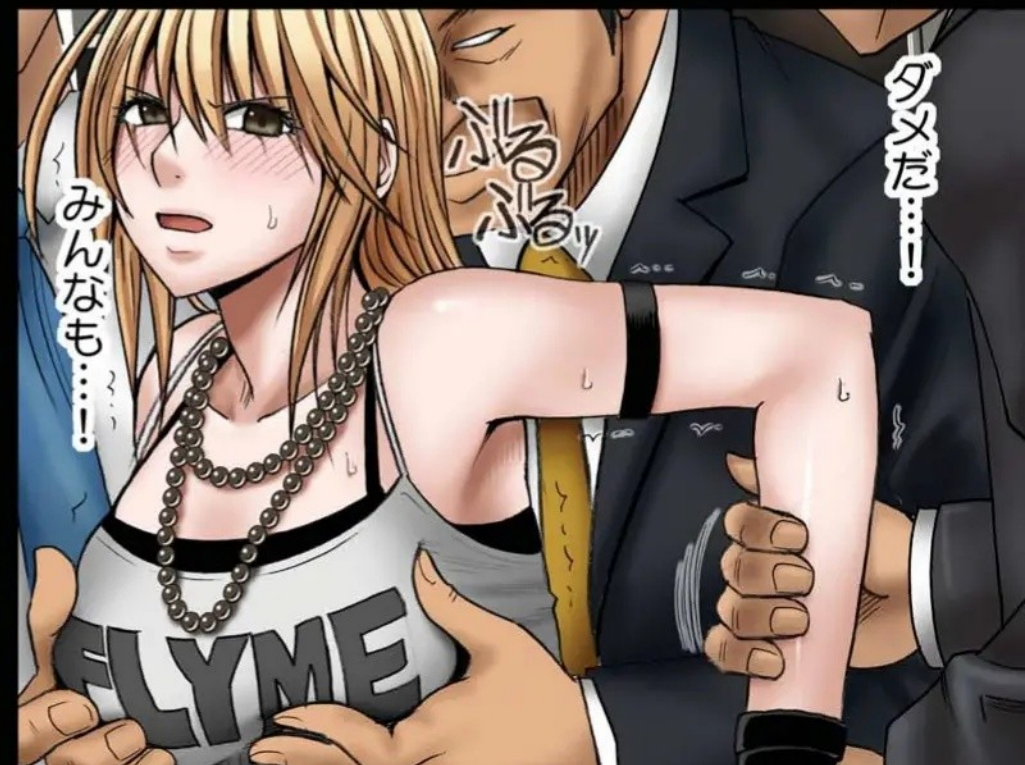
ウッ

ウッ

ケーシヤ...



一人で
何とかするしかない!



みんなも...

ぶる
ぶる

ダメだ...





こんなカラダで
ガマンし続けるなんて
ムリ……!



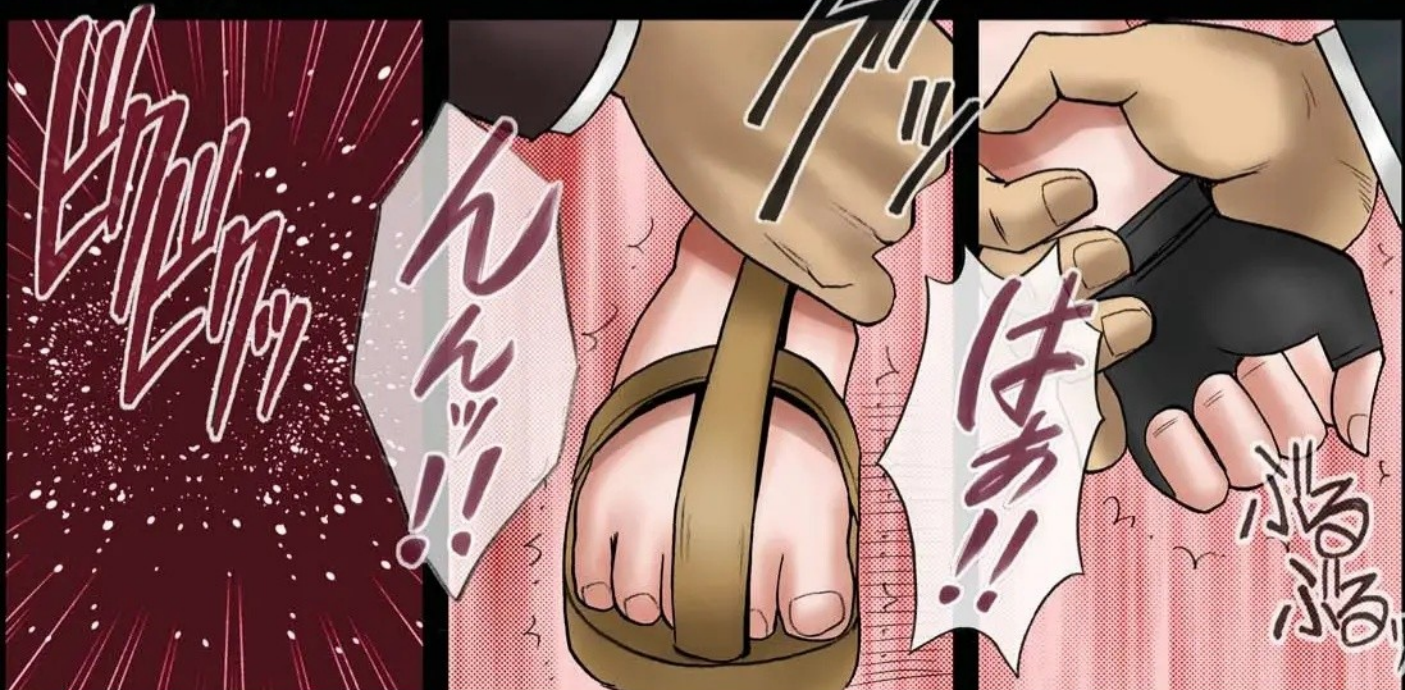
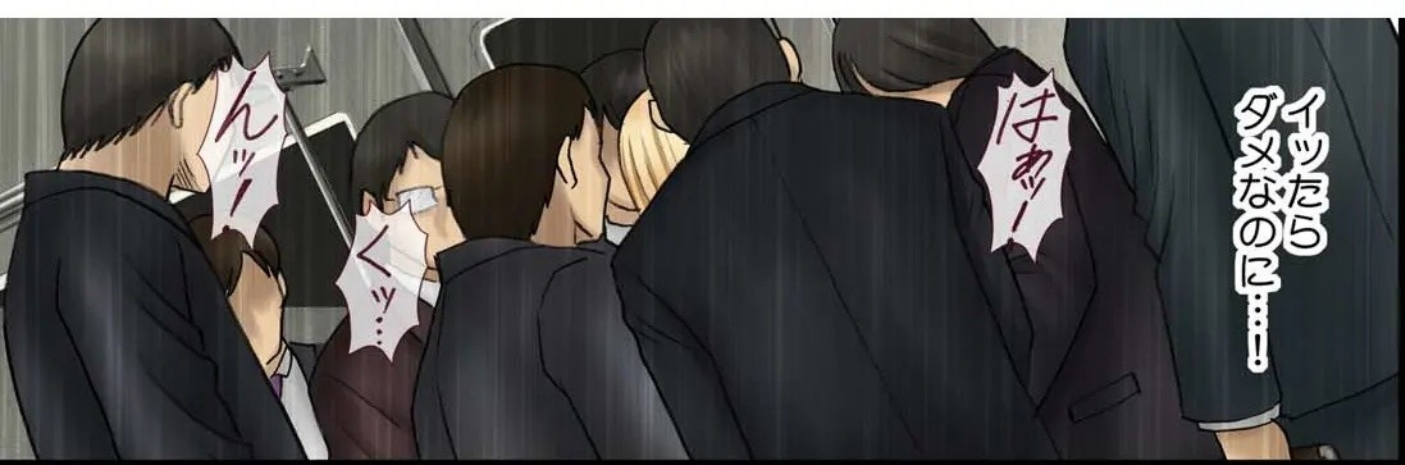
おっ……タメ……



頭が真っ白になる……!

何とかしなきゃ
ならないのに……!

何も
考えられない!





ああッ!!!

淫行



はっ！
はっ！
はっ！

イカされた…！

はっ！



はっ！

はっ！

はっ！



イツちやった
ね

前みたいに
霊力は吸収されてない

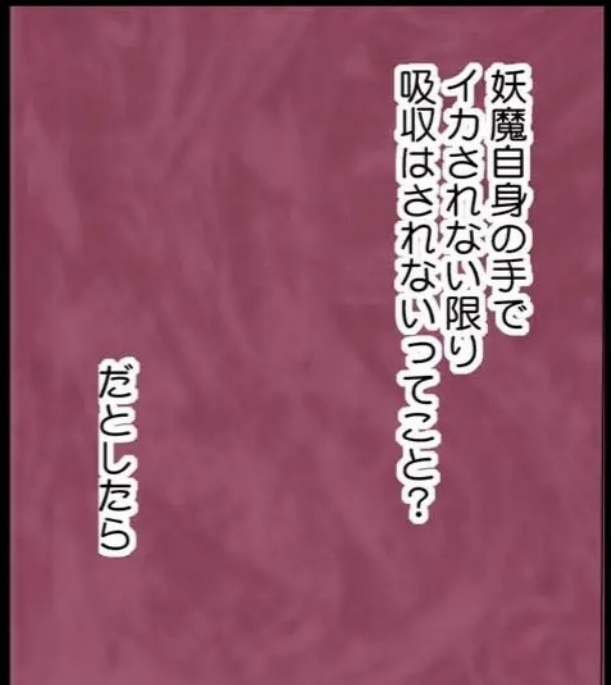
フフフ…

今のはただの人間に
イカされただけ…！



妖魔はいつかは
精気を吸い取るために
じきじきに手をくだしに
くるはず

必ずこの中に
人間を操っている
妖魔本体が紛れ込んでる…！



妖魔自身の手で
イカされない限り
吸収はされないってこと？

だ…！

どれなの？

気持ちよかったん
でしょ？

ねえ？
気持ちよかったん
でしょう？

妖魔は…一体…？

もう一回
指でイこうか

それとも
もつとイイこと
する？

ビクッ

ビクッ

ハロ
ハロ

くちゅくちゅ



ほくら
全部脱いじゃい
ましようね



一度イッたんだから
もう恥ずかしくなんて
ないでしょう？



ダメッ！

集中できない！

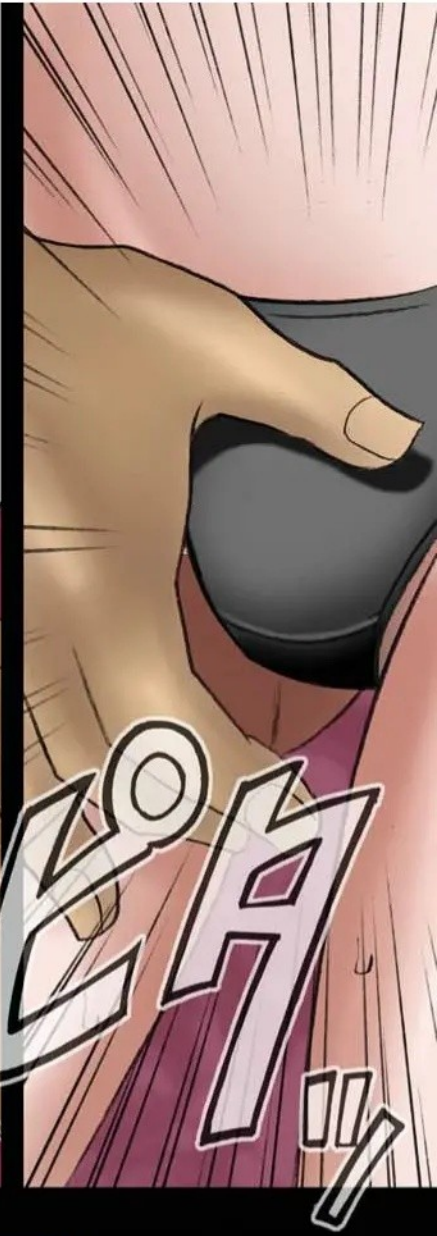
また…イカされる！

モッ
モッ

んんッ！

クッ
クッ

クッ
クッ







このままじゃダメ！



あつちのお姉さんは
エロい声を上げて
イキまくってるのに

こっちのお姉さんは
ガマン強いねえ！

ほらほら
ガマンせずに
声だしなよ

ジュルルッ



このままじゃ
3人とも

妖魔の餌食に...!!



ダメッ！

ああッ！！

ビクッ

あッ！！

ビクッ

快感の高まりが止められないッ！

ちゅっちゅっ



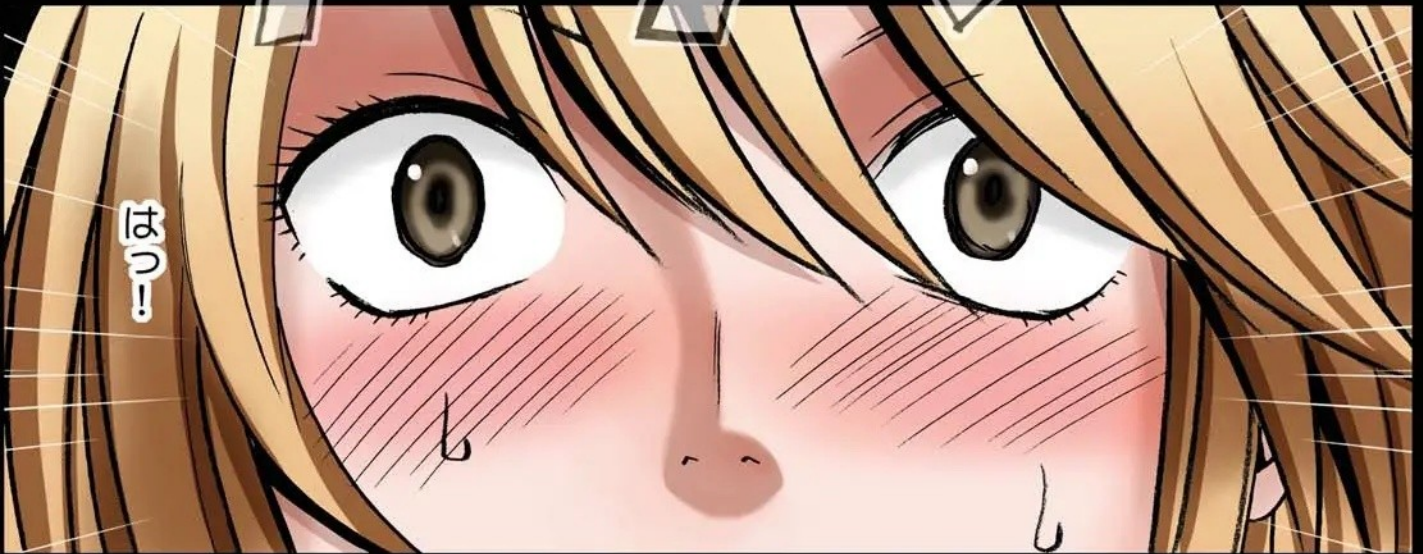
おっ…ダメッ！

ビクッ



頭で何か弾けて…！

ズル
ズル

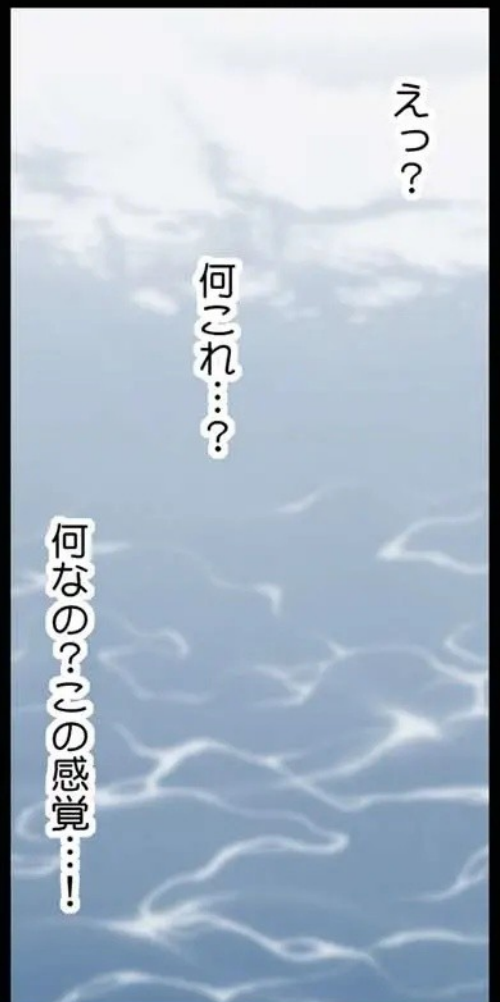


はっ!



すべてが研ぎ澄まされて…!!

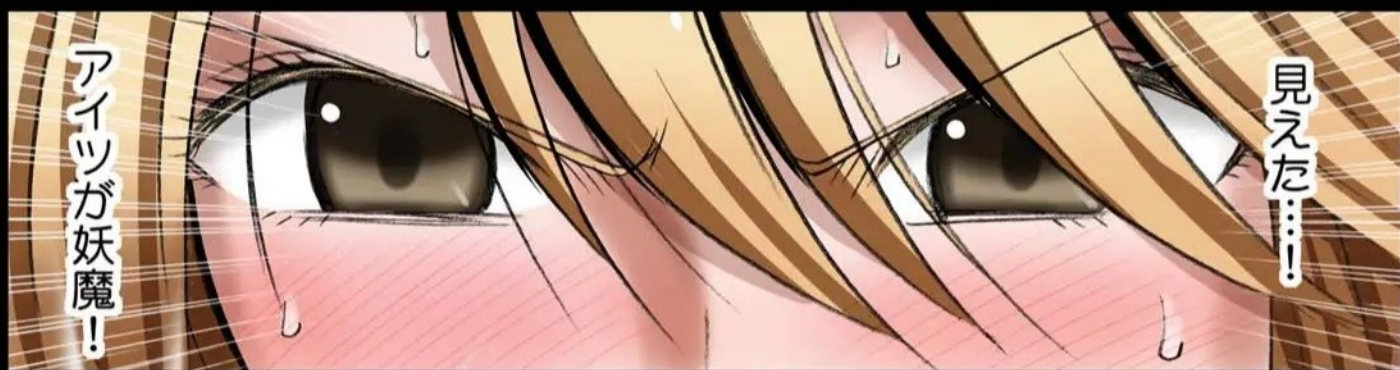
力がみなぎる…!!



えっ?

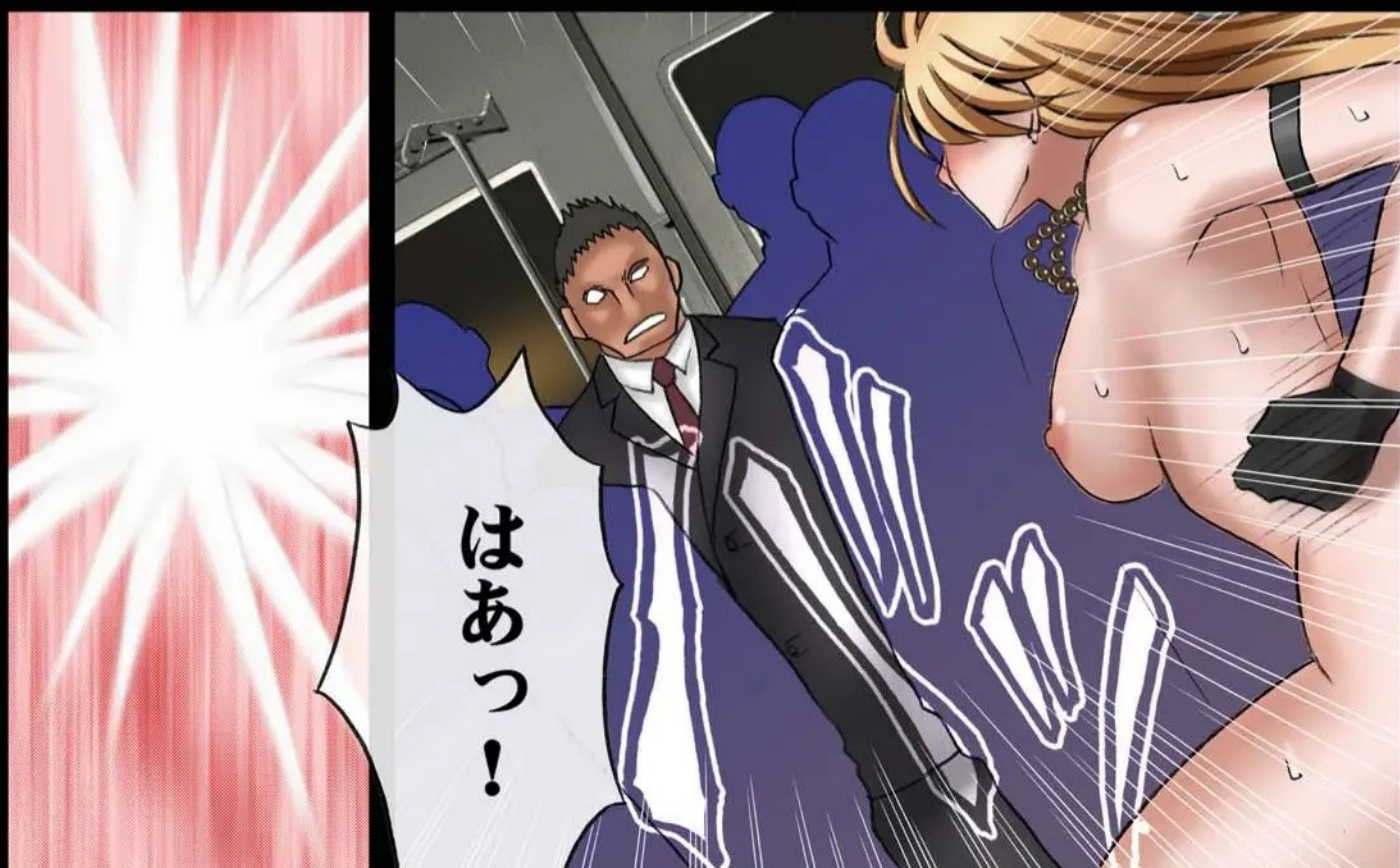
何これ…?

何なの?この感覚…!!



アイツが妖魔!

見えた!!!



はあっ!

陽魂衝！

